

# 成果説明書

## 【政策 1 : 子育て・教育】

### 心豊かで自立できる人が育つまち

【施策 1-1】 教育環境の充実を図り、子どもたちの「生きる力」を育みます

【施策 1-2】 安心して子どもを産み育てることができる環境づくりに、  
社会全体（みんな）で取り組みます

【施策 1-3】 生涯にわたる市民の主体的な「学び」を促進し、「生涯学習社会」の実現をめざします

【施策 1-4】 かけがえのない文化財を保存・継承し、積極的に活用します

【施策 1-5】 スポーツを通じて、交流や活動が生まれるまちを目指します

【施策 1-6】 市民の人権意識を高めます



政策1	心豊かで自立できる人が育つまち
-----	-----------------

所 管	教育委員会
-----	-------

#### ◆ミッション

明治時代から受け継がれてきた「梅花教育」や、小諸の豊かな自然・歴史・文化といった財産や、医療・福祉などの子育て・教育に適した環境をフルに活用して、小諸ならではの子育てや生涯にわたり学びが実践できる環境を整える。

- ◎子どもたちの「生きる力」の育成を図る。
- ◎教育環境の充実とともに、一人ひとりに応じた学びを支える体制の強化を図る。
- ◎地域総ぐるみで子どもたちを育成する取り組みを推進する。
- ◎生涯学習を支える環境の充実を図り、市民の主体的な学びを促進する。
- ◎かけがえのない文化財を保存・継承し、積極的に活用する。
- ◎スポーツ振興を図るとともに、高地トレーニングがまちづくりにつながるよう取り組みの展開を図る。
- ◎人権啓発・人権同和教育を積極的に進め、市民の人権意識の高揚を図る。

#### ◆方 針

◎子どもたちの「生きる力」の育成を図る。

子どもたちの「学びに対する意欲や喜び」を高め、基礎学力の向上とともに、問題解決的な学習を通して、自ら考え行動できる力の育成を図り、すべての学びの場を通して「自己肯定感」の育成に努める。そして、「確かな学力」と「豊かな人間性」「たくましく生きるための健康や体力」の総体である『生きる力』の育成を図る。

◎教育環境の充実とともに、一人ひとりに応じた学びを支える体制の強化を図る。

子どもたちの学びを適切に支えるため、施設・設備の整備・充実とともに、一人ひとりの学びに応じた人的体制の充実を図る。施設・設備面では、長期学校改築計画の策定、施設の長寿命化対策の推進、ICT環境の充実、保育園の再配置計画の策定等に取り組む。また、人的な面では、子育て・教育における課題の解決に向けて、時宜に応じた配置や充実に努める。

◎地域総ぐるみで子どもたちを育成する取り組みを推進する。

学校と家庭、地域、関係機関等との連携による信州型コミュニティスクールを推進するほか、子どもたちの健全育成と安全・安心の確保に向けて、地域総ぐるみでの取り組みの強化を図る。また、安心して子育てができるよう、各年齢段階に応じたサービスの充実に努めるとともに、多様な子育てニーズに応えるため、各種事業のさらなる充実を図る。

◎生涯学習を支える環境の充実を図り、市民の主体的な学びを促進する。

生涯を通じた学びが広がり、生きがいづくりにつながるよう、小諸ならではの様々な資源を活かしながら、学習環境の整備、生涯学習機会の創出を図り、市民の主体的な学びを促進する。また、まちじゅうに音楽があふれる「音楽のまち・こもろ」の実現に向け、各種事業の充実を図る。

◎かけがえのない文化財を保存・継承し、積極的に活用する。

ふるさと「小諸」のかけがえのない文化財の保存・継承・活用等に取り組むとともに、歴史的な資料や古文書の収集・保存・研究等を一体的に進める。また、小諸の誇りを認識し、ふるさとを愛し大切に思う心を育むため、小諸の歴史的、文化的なお宝や、自然のすばらしさを活かした「ふるさと学習」を進める。

◎スポーツ振興を図るとともに、高地トレーニングがまちづくりにつながるよう取り組みの展開を図る。

多様化するスポーツニーズへの対応に努めるとともに、統廃合を含め施設の適切な整備を図る。また、高地トレーニングで小諸を訪れるアスリートと市民との交流事業等を進め、競技へのきっかけの場やまちの活性化、健康づくりへの展開につなげる。

◎人権啓発・人権同和教育を積極的に進め、市民の人権意識の高揚を図る。

一人ひとりの人権が尊重され、大切にされる社会の実現に向け、保育園、小・中学校をはじめ、家庭、地域、企業等で、人権意識の啓発・人権同和教育を積極的に進める。また、教育・啓発活動とともに、市民の交流の機会の創出、相談体制の充実等を図る。

政策 1	心豊かで自立できる人が育つまち
施策 1-1	教育環境の充実を図り、子どもたちの「生きる力」を育みます

所 管	学校教育課
関 連	—
関 連	—
関 連	—
関 連	—
関 連	—

◆現状と課題

これからの社会が、どんなに変化して予測困難になっても、自ら課題を見つけ、自ら学び、自ら考え、自ら判断して行動できるような「生きる力」を育むため、豊かな心と健やかな体の育成・基礎学力の向上・子どもの学びを支える教育環境の整備などに取り組んでいる。

喫緊の課題としては、学校改築・再編方針に基づく「長期学校改築計画」の早期策定であり、長期的視点に立った学校の適正規模・配置について検討し、統廃合も含め、学校教育審議会による議論を進める。

また、学校現場で質の高い指導が行われるためには、「教職員の働き方改革」を推進し、教職員が子どもと向き合う時間を確保することが課題となっている。不登校やいじめの改善に向けた継続的な支援等についても、さらなる取り組みが必要である。

◆方針

目的
<p>子どもたちの「学びに対する意欲や喜び」を高め、基礎学力の向上とともに、問題解決的な学習を通して、自ら考え行動できる力の育成を図り、すべての学びの場を通して「自己肯定感」の育成に努める。そして、「確かな学力」「豊かな人間性」「たくましく生きるための健康や体力」の総体である「生きる力」の育成を図る。</p> <p>子どもたちの学びを適切に支えるため、施設・設備の整備面では、長期学校改築計画の策定、施設の長寿命化対策の推進、ICT環境の充実等に取り組む。また、一人ひとりの学びに応じた人的体制の充実を図る。</p>

◆令和2年度重点方針と目標

- ・平成30年度に決定した「学校改築・再編基本方針」に基づき、具体的な再編方法等を検討している「学校教育審議会」の議論が着実に進むよう事務局としての的確に対応し、「長期学校改築計画」の策定作業の進捗を図る。
- ・施設、設備の維持管理を計画的に進めるとともに、子どもたちの学習習慣・生活習慣の形成への支援、不登校未然防止の取り組みのほか、教員の資質向上や働き方改革の推進など「学びを支える体制づくり」を進める。
- ・小学校の「英語教科化」をはじめ「ICT教育」など、新学習指導要領への対応、環境整備を継続し学校現場への定着を図る。

◆目標

・目標の計画と達成状況

計 画
<p>①豊かな心と健やかな体が育成され、基礎学力が向上し、子どもの学びを支える教育環境が構築された状態。</p> <p>②学びに対する意欲や喜びが高まり、「生きる力」が育成された状態。</p>

◆実績

令和2年度実績	
・「学校教育審議会」の実質的な審議が終了し、令和3年4月14日開催の審議会をもって「小中学校の改築・再編について」の答申の提出を受ける。 ・小学校には支援教員、中学校には不登校支援講師、小中学校全校に学校生活支援員、英語指導助手(ALT)を市費で配置し、「学び」を支える体制づくりを進めた。 ・ICT環境の整備として、児童・生徒の1人1台端末(クロームブック)の導入、校内のLAN(Wi-Fi)工事がおおよそ完了した。	

◆成果指標(アウトカム)

・目標の計画と達成状況

指標名	全国学力状況調査(小・中学校の全国平均値(100)との対比)						
設定理由	全国学力状況調査の結果が向上すれば、「学力」の習得の度合いが向上したと考えられるから。						
算式	※小:小学6年生・中:中学3年生の調査結果					単位	%
目標値	計画策定時		令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	
	小93.5 中98.1	計画	小100 中100	小100 中100	小100 中100	小100 中100	
		実績	—				
指標名	全国体力状況調査(小・中学校の全国平均値(100)との対比)						
設定理由	全国体力状況調査の結果が向上すれば、「体力」が向上したと考えられるから。						
算式	※小:小学5年生・中:中学2年生の調査結果					単位	%
目標値	計画策定時		令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	
	小97.3 中93.4	計画	小100 中100	小100 中100	小100 中100	小100 中100	
		実績	—				
指標名	学校へ行くことを楽しいと思っている児童・生徒の割合						
設定理由	上記指標の値が向上すれば、子どもたちの「学びに対する意欲や喜び」が高まり、「生きる力」の育成につながると思われるから。						
算式	※小:小学6年生・中:中学3年生の調査結果					単位	%
目標値	計画策定時		令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	
	小88.2 中76.0	計画	小88 中76	小88 中76	小88 中76	小88 中76	
		実績	—				

◆目標の実現に向けた今後の取り組み

今後の方針

維持

・学校教育審議会の答申を参考に、教育委員会として学校再編計画の策定を進める。  
 ・学校施設の長寿命化に向けた改修を計画的に進める。  
 ・多様なニーズや学校運営上の諸課題への支援を継続し、「学び」を支える体制づくりを進める。  
 ・教員の指導力向上を図るとともに、新学習指導要領など学校教育の変化に対応した授業づくりや教員の働き方改革を推進し、併せて教育現場のICT化を進める。

◆個別計画

教育振興基本計画／小中学校ICT環境整備計画／学校施設長寿命化計画

◆特記事項

成果指標の全国学力状況調査について、令和2年度は新型コロナウイルス感染症感染拡大の影響により中止。

政策 1 心豊かで自立できる人が育つまち  
 施策 1-1 教育環境の充実を図り、子どもたちの「生きる力」を育みます

事務事業名		新規・継続	施策内順位			
教育委員会運営費		継続	24			
会計・款・項目		所管課	市長公約事項			
一般会計・10教育費・1教育総務費・1教育委員会費		学校教育課	1:無			
事業概要	【運営費】 ・地方教育行政の組織及び運営に関する法律に基づく教育委員会の運営					
投入指標	年度別事業費		平成30年度	令和元年度	令和2年度	
	特定財源	国・県支出金	3,192 千円	3,102 千円	3,050 千円	
		地方債	0 千円	0 千円	0 千円	
		その他	0 千円	0 千円	0 千円	
		一般財源	3,192 千円	3,102 千円	3,050 千円	
活動指標	指標名		単位	平成30年度	令和元年度	令和2年度
	定期的な教育委員会の開催	回	計画	12	12	12
			実績	12	12	11
	事前研究会・研修会の開催	回	計画	12	12	12
			実績	12	12	10
令和2年度 実績			特記事項			
新型コロナウイルス感染症感染拡大により、定例教育委員会、事前研究・研修会を計画通り開催できなかったが、臨時会の開催等により、適切な運営に努めた。						
目標の実現に向けた今後の取り組み						
教育委員会の定例会、協議会及び事前研究・研修会について、必要に応じて運営方法を見直し、継続的に教育委員会の機能強化を図る。					今後の方針	維持

政策 1 心豊かで自立できる人が育つまち  
 施策 1-1 教育環境の充実を図り、子どもたちの「生きる力」を育みます

事務事業名		新規・継続	施策内順位			
姉妹都市教育委員等連携事業		継続	20			
会計・款・項目		所管課	市長公約事項			
一般会計・10教育費・1教育総務費・1教育委員会費		学校教育課	1:無			
事業概要	子どもたちが他地域の文化に触れる機会を確保するため交流事業を支援する					
投入指標	年度別事業費		平成30年度	令和元年度	令和2年度	
	特定財源	国・県支出金	729 千円	538 千円	78 千円	
		地方債	0 千円	0 千円	0 千円	
		その他	30 千円	20 千円	0 千円	
		一般財源	699 千円	518 千円	78 千円	
活動指標	指標名		単位	平成30年度	令和元年度	令和2年度
	サマー・サイエンススクールの参加人数	人	計画	6	6	6
			実績	3	2	0
			計画			
			実績			
令和2年度 実績			特記事項			
・滑川交流 坂の上小学校へ補助金交付 ・中津川交流 サマー・サイエンス・スクール中止 (新型コロナウイルス感染症感染拡大により、中津川交流は中止となったが、滑川市立田中小学校と坂の上小学校の交流会は、遠隔による交流活動(手紙交換、食を通じた交流、ビデオレター交流)として実施された。)						
目標の実現に向けた今後の取り組み						
各交流事業に対して、これまでと同様の支援を継続し、交流事業の充実を図る。					今後の方針	維持

政策 1 心豊かで自立できる人が育つまち  
 施策 1-1 教育環境の充実を図り、子どもたちの「生きる力」を育みます

事務事業名		新規・継続	施策内順位			
事務局運営費		継続	25			
会計・款・項・目		所管課	市長公約事項			
一般会計・10教育費・1教育総務費・1教育委員会費		学校教育課	1:無			
事業概要	【運営費】 ・施策推進のための事務局運営費					
投入指標			平成30年度	令和元年度	令和2年度	
	年度別事業費		4,453 千円	4,657 千円	4,615 千円	
	特定財源	国・県支出金	0 千円	0 千円	0 千円	
		地方債	0 千円	0 千円	0 千円	
		その他	0 千円	0 千円	0 千円	
一般財源		4,453 千円	4,657 千円	4,615 千円		
活動指標	指標名		単位	平成30年度	令和元年度	令和2年度
			計画			
			実績			
			計画			
			実績			
令和2年度 実績			特記事項			
各課各係の運営を円滑に実施した。						
目標の実現に向けた今後の取り組み					今後の方針	維持
定期的に事務局組織の見直しを行うとともに、事務局内の横の連携を密に図ることで、効率的かつ効果的な組織運営を図る。						

政策 1 心豊かで自立できる人が育つまち  
 施策 1-1 教育環境の充実を図り、子どもたちの「生きる力」を育みます

事務事業名		新規・継続	施策内順位				
中学生海外文化・語学学習事業		継続	12				
会計・款・項・目		所管課	市長公約事項				
一般会計・10教育費・1教育総務費・1教育委員会費		学校教育課	1:無				
事業概要	アメリカ・ミシガン州ホランドのホープカレッジへの中学生の派遣						
投入指標			平成30年度	令和元年度	令和2年度		
	年度別事業費		2,106 千円	2,122 千円	0 千円		
	特定財源	国・県支出金	0 千円	0 千円	0 千円		
		地方債	0 千円	0 千円	0 千円		
		その他	0 千円	0 千円	0 千円		
一般財源		2,106 千円	2,122 千円	0 千円			
活動指標	指標名		単位	平成30年度	令和元年度	令和2年度	
	中学生海外派遣人数		人	計画	8	8	8
				実績	8	8	0
				計画			
			実績				
令和2年度 実績			特記事項				
新型コロナウイルス感染拡大により、海外派遣事業を中止した。							
目標の実現に向けた今後の取り組み					今後の方針	維持	
新型コロナウイルス感染拡大状況を鑑み、中学生英語研修(イングリッシュセミナー)及び海外派遣の検討を行う。							

政策 1 心豊かで自立できる人が育つまち  
 施策 1-1 教育環境の充実を図り、子どもたちの「生きる力」を育みます

事務事業名		新規・継続	施策内順位								
学校運営費		継続	6								
会計・款・項・目		所管課	市長公約事項								
一般会計・10教育費・1教育総務費・2学校運営費		学校教育課	1:無								
事業概要	【運営費】 ・小中学校運営の支援 ・特色ある学校運営を推進するための補助金の交付 ・教職員の資質向上を図るための補助金の交付										
	投入指標	年度別事業費	平成30年度	令和元年度	令和2年度						
特定財源	国・県支出金	18,485 千円	21,069 千円	22,576 千円							
	地方債	0 千円	0 千円	0 千円							
	その他	0 千円	0 千円	0 千円							
	一般財源	0 千円	1,350 千円	1,610 千円							
一般財源		18,485 千円	19,719 千円	20,966 千円							
活動指標	指標名	単位	平成30年度	令和元年度	令和2年度						
						課外活動備品購入費の予算計上額(寄附金額)	万円	計画	100	100	100
								実績	0	135	145
								計画			
令和2年度 実績			特記事項								
<ul style="list-style-type: none"> <li>学校における働き方改革の取り組みのひとつとして、学校の業後の電話を自動音声に切り替えることで、教職員の電話対応を軽減した。</li> <li>小諸市教頭会において、各学校のレポート発表を行い、各学校で共有を図った。</li> </ul>											
目標の実現に向けた今後の取り組み					今後の方針	維持					
<ul style="list-style-type: none"> <li>働き方改革推進検討委員会の提言書に基づき、「学校」、「教育委員会」、「保護者」がそれぞれ取り組むものを明確化し、可能なものから実施していく。定期的に振り返りを行い、成果が出ないものについては検討のうえ取り組み方法を変更し、実施していく。</li> <li>学校の業後の電話を自動音声に切り替え、教職員の電話対応を軽減する取組を継続していく。</li> </ul>											

政策 1 心豊かで自立できる人が育つまち  
 施策 1-1 教育環境の充実を図り、子どもたちの「生きる力」を育みます

事務事業名		新規・継続	施策内順位								
学校給食食材放射性物質測定事業		継続	17								
会計・款・項・目		所管課	市長公約事項								
一般会計・10教育費・1教育総務費・2学校運営費		学校教育課	1:無								
事業概要	・小中学校の給食食材の放射性物質測定の実施と結果の公表										
	投入指標	年度別事業費	平成30年度	令和元年度	令和2年度						
特定財源	国・県支出金	915 千円	757 千円	460 千円							
	地方債	0 千円	0 千円	0 千円							
	その他	0 千円	0 千円	0 千円							
	一般財源	0 千円	0 千円	0 千円							
一般財源		915 千円	757 千円	460 千円							
活動指標	指標名	単位	平成30年度	令和元年度	令和2年度						
						測定実施日数	日	計画	24	24	12
								実績	24	24	12
								計画			
令和2年度 実績			特記事項								
全小中学校各1検体を月1回測定を実施し、検査結果を公表した。											
目標の実現に向けた今後の取り組み					今後の方針	縮小					
過去の検査結果を含め、各校担当者と共有する。基準値を超えた検査結果が出た場合は、その食材の利用停止等早急な対応を各校担当者と行う。											

政策 1 心豊かで自立できる人が育つまち  
 施策 1-1 教育環境の充実を図り、子どもたちの「生きる力」を育みます

事務事業名		新規・継続	施策内順位			
英語教育推進事業		継続	11			
会計・款・項目		所管課	市長公約事項			
一般会計・10教育費・1教育総務費・2学校運営費		学校教育課	1:無			
事業概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>・文部科学省が策定した「グローバル化に対応した英語教育改革実施計画」に基づく教育環境づくり推進のため、小学校英語教育の早期化</li> <li>・教科化や教育内容、授業数の在り方、また、教育課程の改善を踏まえた中学校及び高等学校における英語教育の目標</li> <li>・内容の高度化や指導方法への改善についての調査研究を行う。</li> </ul>					
投入指標	年度別事業費		平成30年度	令和元年度	令和2年度	
	特定財源	国・県支出金	30,159 千円	30,276 千円	28,737 千円	
		地方債	0 千円	0 千円	0 千円	
		その他	0 千円	0 千円	0 千円	
		一般財源	30,159 千円	30,276 千円	28,737 千円	
活動指標	指標名		単位	平成30年度	令和元年度	令和2年度
	小諸市英語教育推進委員会の開催数	回	計画	6	6	6
			実績	5	5	5
			計画			
実績						
令和2年度 実績			特記事項			
小諸市英語教育推進委員会として、英語教育指導主事(事務局)、小・中学校から推薦された教員、ALT(英語指導助手)が定期的な会議を開催し、新学習指導要領への対策や課題の共有を図った。						
目標の実現に向けた今後の取り組み 新学習指導要領への対応に差が無いよう、小諸市英語教育推進委員会において、共通した指導方法を検討する。					今後の方針	維持

政策 1 心豊かで自立できる人が育つまち  
 施策 1-1 教育環境の充実を図り、子どもたちの「生きる力」を育みます

事務事業名		新規・継続	施策内順位			
長期学校改築計画策定事業		継続	1			
会計・款・項目		所管課	市長公約事項			
一般会計・10教育費・1教育総務費・2学校運営費		学校教育課	1:無			
事業概要	市内小中学校のあり方について、小諸市長期学校改築検討会において「たたき台」を作成し、さらに検討を加え「小諸市長期学校改築計画」を策定する。					
投入指標	年度別事業費		平成30年度	令和元年度	令和2年度	
	特定財源	国・県支出金	8,479 千円	7,307 千円	5,999 千円	
		地方債	0 千円	0 千円	0 千円	
		その他	0 千円	0 千円	0 千円	
		一般財源	8,479 千円	7,307 千円	5,999 千円	
活動指標	指標名		単位	平成30年度	令和元年度	令和2年度
	審議会の開催	回	計画	0	12	12
			実績	1	11	8
			計画			
実績						
令和2年度 実績			特記事項			
<ul style="list-style-type: none"> <li>・小諸市学校教育審議会中間まとめ説明会を令和2年7月に開催。年度内には実質的な審議が終了し、答申内容を固めていただいた。(答申提出:令和3年4月14日)</li> <li>・小諸市公共施設総合管理計画の個別施設計画として小諸市学校施設長寿命化計画の策定が完了。</li> </ul>						
目標の実現に向けた今後の取り組み ①小諸市学校教育審議会からの答申を参考に、小諸市教育委員会として「学校再編計画」の策定に取り組む。 ②学校施設長寿命化計画については、全庁的な公共施設再編計画との一体的な取り組みを視野に入れ、市長部局との連携を深める。					今後の方針	維持

政策 1 心豊かで自立できる人が育つまち  
 施策 1-1 教育環境の充実を図り、子どもたちの「生きる力」を育みます

事務事業名		新規・継続	施策内順位			
小学校管理費運営費		継続	7			
会計・款・項・目		所管課	市長公約事項			
一般会計・10教育費・2小学校費・1学校管理費		学校教育課	1:無			
事業概要	【運営費】					
	・小学校の管理、運営 ・臨時職員の任用 ・関係団体、事業への負担金交付					
投入指標			平成30年度	令和元年度	令和2年度	
	年度別事業費		127,505 千円	132,762 千円	113,073 千円	
	特定財源	国・県支出金	0 千円	0 千円	0 千円	
		地方債	0 千円	0 千円	0 千円	
		その他	5 千円	29 千円	36 千円	
一般財源		127,500 千円	132,733 千円	113,037 千円		
活動指標	指標名		単位	平成30年度	令和元年度	令和2年度
	QU検査・ハイパーQU検査の実施校	校	計画	6	6	6
			実績	5	5	5
	CRT検査の実施校	校	計画	6	6	6
			実績	6	6	6
令和2年度 実績			特記事項			
全小学校でCRT検査(学力検査)及びQU検査・ハイパーQU検査(児童の学校生活意欲、学級満足度の調査)を目標どおり実施した。						
目標の実現に向けた今後の取り組み					今後の方針	維持
校長会において市教委と各学校間の情報を共有し、スムーズな管理、運営を行っていく。						

政策 1 心豊かで自立できる人が育つまち  
 施策 1-1 教育環境の充実を図り、子どもたちの「生きる力」を育みます

事務事業名		新規・継続	施策内順位			
小学校施設維持管理事業		継続	3			
会計・款・項・目		所管課	市長公約事項			
一般会計・10教育費・2小学校費・1学校管理費		学校教育課	1:無			
事業概要	・小学校施設を維持管理するための保守点検、修繕、営繕工事など					
投入指標			平成30年度	令和元年度	令和2年度	
	年度別事業費		869,835 千円	362,475 千円	276,680 千円	
	特定財源	国・県支出金	169,999 千円	58,300 千円	55,190 千円	
		地方債	436,900 千円	116,500 千円	123,900 千円	
		その他	0 千円	0 千円	13 千円	
一般財源		262,936 千円	187,675 千円	97,577 千円		
活動指標	指標名		単位	平成30年度	令和元年度	令和2年度
	施設の長寿命化に繋がる改修件数	件	計画	1	1	1
			実績	1	0	1
			計画			
			実績			
令和2年度 実績			特記事項			
・計画的に緊急性・優先性の高い案件の改修に取り組んだ。 ・美南ガ丘小学校の大規模改修工事を実施。 ・全小学校の職員室・給食室等への冷房設備設置工事を実施。						
目標の実現に向けた今後の取り組み					今後の方針	維持
・保守点検等により修繕の必要なものについては、緊急性の高いものから実施していく。 ・学校施設の環境改善、長寿命化対策としての美南ガ丘小学校大規模改修工事を実施する。 ・全小学校の職員室・給食室等への冷房設備設置工事を実施する(繰越事業)。						

政策 1 心豊かで自立できる人が育つまち  
 施策 1-1 教育環境の充実を図り、子どもたちの「生きる力」を育みます

事務事業名		新規・継続	施策内順位			
小学校給食運営事業		継続	15			
会計・款・項・目		所管課	市長公約事項			
一般会計・10教育費・2小学校費・1学校管理費		学校教育課	2:有			
事業概要	自校方式で学校給食を提供する					
投入指標	年度別事業費		平成30年度	令和元年度	令和2年度	
	特定財源	国・県支出金	63,508 千円	61,019 千円	69,273 千円	
		地方債	0 千円	0 千円	0 千円	
		その他	0 千円	0 千円	0 千円	
		一般財源	63,508 千円	61,019 千円	69,273 千円	
活動指標	指標名	単位	平成30年度	令和元年度	令和2年度	
給食日		日	計画	210	210	210
			実績	210	210	190
			計画			
			実績			
令和2年度 実績			特記事項			
<ul style="list-style-type: none"> <li>・学校給食協議会を通じ、各学校の取組をそれぞれのPTAと情報共有した。</li> <li>・調理主任会、衛生責任者会、栄養士会、各々の会議で、各校取組状況を共有し、マニュアル改訂整備の検討を行った。</li> </ul>						
目標の実現に向けた今後の取り組み					今後の方針	維持
栄養士、調理主任、衛生責任者、その他給食調理員の取組を共有するとともに、検証及び適宜改定を行う。自校方式を継続し、給食調理業務の委託化に向け、検討を進めていく。						

政策 1 心豊かで自立できる人が育つまち  
 施策 1-1 教育環境の充実を図り、子どもたちの「生きる力」を育みます

事務事業名		新規・継続	施策内順位			
小学校保健事業		継続	13			
会計・款・項・目		所管課	市長公約事項			
一般会計・10教育費・2小学校費・1学校管理費		学校教育課	1:無			
事業概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>・傷害保険の給付</li> <li>・小学校における児童・教職員を対象とした各種検診・検査の実施</li> </ul>					
投入指標	年度別事業費		平成30年度	令和元年度	令和2年度	
	特定財源	国・県支出金	13,968 千円	13,315 千円	17,059 千円	
		地方債	0 千円	0 千円	0 千円	
		その他	1,679 千円	1,363 千円	4,826 千円	
		一般財源	12,289 千円	11,952 千円	12,233 千円	
活動指標	指標名	単位	平成30年度	令和元年度	令和2年度	
該当事件数に対する給付件数の割合		%	計画	100	100	100
			実績	100	100	100
			計画			
			実績			
令和2年度 実績			特記事項			
<ul style="list-style-type: none"> <li>・養護補助員を事務局へ1名配置し、学校との連絡、連携を密に行ない、事案の早期把握に努めた。給付件数242件</li> <li>・ストレスチェックは、法で定める対象学校(1校)を実施した。</li> </ul>						
目標の実現に向けた今後の取り組み					今後の方針	維持
小諸市養護委員会にて情報を共有する。						

政策 1 心豊かで自立できる人が育つまち  
 施策 1-1 教育環境の充実を図り、子どもたちの「生きる力」を育みます

事務事業名		新規・継続	施策内順位				
小学校教育振興事業		継続	18				
会計・款・項目		所管課	市長公約事項				
一般会計・10教育費・2小学校費・2教育振興費		学校教育課	1:無				
事業概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>「きらら会」による小学5年生を対象とした体験授業の開催</li> <li>小学校の理科教育備品の整備</li> </ul>						
投入指標			平成30年度	令和元年度	令和2年度		
	年度別事業費		1,789 千円	1,789 千円	870 千円		
	特定財源	国・県支出金	445 千円	498 千円	415 千円		
		地方債	0 千円	0 千円	0 千円		
		その他	0 千円	0 千円	0 千円		
一般財源		1,344 千円	1,291 千円	455 千円			
活動指標	指標名		単位	平成30年度	令和元年度	令和2年度	
	実施学校数に対する補助金交付件数の割合		%	計画	100	100	100
				実績	100	100	100
	音楽の体験授業実施校数		校	計画	6	6	6
実績				6	6	0	
令和2年度 実績					特記事項		
<ul style="list-style-type: none"> <li>理科教育振興のため、補助金を活用し教材備品が各校均等となるよう備品の整備を行った。</li> <li>新型コロナ感染拡大を図るため、音楽の体験授業を行うことが出来なかった。</li> </ul>							
目標の実現に向けた今後の取り組み					今後の方針	維持	
<ul style="list-style-type: none"> <li>音楽体験授業については、学校からの評価が高いため継続していく。</li> <li>※ 令和2年度は新型コロナウイルス感染予防のため実施は見合わせ、令和3年度に5年生及び6年生の体験授業を実施する。</li> <li>理科教育備品については、学校ニーズを把握したうえで、通常予算では購入が難しい高額なものを優先に購入していく。</li> </ul>							

政策 1 心豊かで自立できる人が育つまち  
 施策 1-1 教育環境の充実を図り、子どもたちの「生きる力」を育みます

事務事業名		新規・継続	施策内順位				
小学校ICT教育推進事業		継続	5				
会計・款・項目		所管課	市長公約事項				
一般会計・10教育費・2小学校費・2教育振興費		学校教育課	1:無				
事業概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>パソコン教室等、情報教育に係る環境の整備</li> </ul>						
投入指標			平成30年度	令和元年度	令和2年度		
	年度別事業費		11,775 千円	10,981 千円	32,549 千円		
	特定財源	国・県支出金	0 千円	0 千円	410 千円		
		地方債	0 千円	0 千円	0 千円		
		その他	0 千円	0 千円	0 千円		
一般財源		11,775 千円	10,981 千円	32,139 千円			
活動指標	指標名		単位	平成30年度	令和元年度	令和2年度	
	クラスの児童数に対するパソコン教室のパソコン設置数の割合		%	計画	100	100	100
				実績	100	100	100
	「ICT環境整備計画」にもとづく情報端末の整備割合		%	計画	10	25	100
実績				0	0	100	
令和2年度 実績					特記事項		
<ul style="list-style-type: none"> <li>ハード面の整備(児童1人1台端末(Chromebook)の導入、校内LAN(Wi-Fi)工事)がおおよそ完了。</li> <li>GIGAスクールサポーターによる教員研修等の取り組みを開始した。</li> </ul>							
目標の実現に向けた今後の取り組み					今後の方針	維持	
<ul style="list-style-type: none"> <li>教員研修等のソフト面での支援について、学校間で格差が出ないように情報委員会で協議し、計画的に進める。</li> <li>情報機器を使用して発生した問題事例の把握、導入が必要なソフト・アプリの検討等に取り組む。</li> </ul>							

政策 1 心豊かで自立できる人が育つまち  
 施策 1-1 教育環境の充実を図り、子どもたちの「生きる力」を育みます

事務事業名		新規・継続	施策内順位				
小学校教育支援事業		継続	10				
会計・款・項目		所管課	市長公約事項				
一般会計・10教育費・2小学校費・2教育振興費		学校教育課	1:無				
事業概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>・遠距離通学児童の保護者に対する補助金の交付</li> <li>・要保護・準要保護世帯に対する就学援助費の支給</li> <li>・特別支援教室に通う児童の保護者に対する就学奨励費の支給</li> <li>・小学校低学年時の学習習慣形成と集団生活の中での生活習慣の形成</li> </ul>						
投入指標	年度別事業費		平成30年度	令和元年度	令和2年度		
	国・県支出金		36,270 千円	34,015 千円	32,322 千円		
	特定財源	国・県支出金	603 千円	604 千円	447 千円		
		地方債	0 千円	0 千円	0 千円		
		その他	0 千円	0 千円	0 千円		
	一般財源	35,667 千円	33,411 千円	31,875 千円			
活動指標	指標名		単位	平成30年度	令和元年度	令和2年度	
	該当世帯件数に対する補助金交付件数の割合		%	計画	100	100	100
				実績	100	100	100
	支援教員への研修回数		回	計画	4	4	4
実績				4	4	2	
令和2年度 実績				特記事項			
<ul style="list-style-type: none"> <li>・就学援助費(翌年度入学児童新入学用品費)を認定した家庭に年度内に支給することができた。</li> <li>・支援教員研修は、配慮が必要な児童の学習指導方法を研究し、実践した。</li> </ul>							
目標の実現に向けた今後の取り組み					今後の方針	維持	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・就学援助費については、引き続き複数の職員による支給要件や支給金額の確認を行い、支給を行う。通常の事業の周知のほか、7月に再度事業の周知(保護者宛通知を学校経由で配布する。)を行い、新型コロナウイルス感染症の影響により経済的に困窮した世帯に対して就学援助費申請の機会を確保する。</li> <li>・支援教員については、指導主事による学校訪問での助言を行うほか研修会を開催し、指導力向上を図る。</li> </ul>							

政策 1 心豊かで自立できる人が育つまち  
 施策 1-1 教育環境の充実を図り、子どもたちの「生きる力」を育みます

事務事業名		新規・継続	施策内順位				
中学校管理費運営費		継続	8				
会計・款・項目		所管課	市長公約事項				
一般会計・10教育費・3中学校費・1学校管理費		学校教育課	1:無				
事業概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>【運営費】</li> <li>・中学校の管理・運営</li> <li>・臨時職員の任用</li> <li>・関係団体・事業への負担金交付</li> </ul>						
投入指標	年度別事業費		平成30年度	令和元年度	令和2年度		
	国・県支出金		59,021 千円	52,923 千円	62,917 千円		
	特定財源	国・県支出金	0 千円	0 千円	0 千円		
		地方債	0 千円	0 千円	0 千円		
		その他	24 千円	103 千円	43 千円		
	一般財源	58,997 千円	52,820 千円	62,874 千円			
活動指標	指標名		単位	平成30年度	令和元年度	令和2年度	
	いじめに関するアンケート		校	計画	2	2	2
				実績	2	2	2
				計画			
実績							
令和2年度 実績				特記事項			
いじめの把握、意識を高めるため、月1回または学期毎にいじめアンケートを実施することで、学級の状況を把握することができたため、QU検査及びハイパーQU検査は行わなかった。							
目標の実現に向けた今後の取り組み					今後の方針	維持	
校長会において市教委と各学校間の情報を共有し、スムーズな管理、運営を行っていく。							

政策 1 心豊かで自立できる人が育つまち  
 施策 1-1 教育環境の充実を図り、子どもたちの「生きる力」を育みます

事務事業名		新規・継続	施策内順位			
中学校施設維持管理事業		継続	2			
会計・款・項・目		所管課	市長公約事項			
一般会計・10教育費・3中学校費・1学校管理費		学校教育課	1:無			
事業概要	・中学校施設を維持するための保守点検、修繕、営繕工事など工事・修繕・業務委託					
投入指標	年度別事業費		平成30年度	令和元年度	令和2年度	
	特定財源	国・県支出金	11,583 千円	172,269 千円	262,409 千円	
		地方債	0 千円	27,342 千円	57,016 千円	
		その他	0 千円	53,900 千円	171,800 千円	
		一般財源	0 千円	0 千円	89 千円	
一般財源		11,583 千円	91,027 千円	33,504 千円		
活動指標	指標名		単位	平成30年度	令和元年度	令和2年度
	施設の長寿命化に繋がる改修件数	件	計画	1	1	1
			実績	1	1	1
			計画			
実績						
令和2年度 実績			特記事項			
<ul style="list-style-type: none"> <li>・計画的に緊急性・優先性の高い改修に取り組んだ。</li> <li>・小諸東中学校の大規模改修工事を実施。</li> <li>・両中学校の職員室・給食室等への冷房設備設置工事を実施。</li> </ul>						
目標の実現に向けた今後の取り組み					今後の方針	維持
<ul style="list-style-type: none"> <li>・保守点検等により修繕の必要なものについては、緊急性の高いものから実施していく。</li> <li>・建設後概ね30年が経過する小諸東中学校の長寿命化のための改修工事を複数年で計画的に実施する。</li> <li>・両中学校の職員室・給食室等への冷房設備設置工事を実施する(繰越事業)。</li> </ul>						

政策 1 心豊かで自立できる人が育つまち  
 施策 1-1 教育環境の充実を図り、子どもたちの「生きる力」を育みます

事務事業名		新規・継続	施策内順位			
中学校給食運営事業		継続	16			
会計・款・項・目		所管課	市長公約事項			
一般会計・10教育費・3中学校費・1学校管理費		学校教育課	1:無			
事業概要	自校方式で学校給食を提供する。					
投入指標	年度別事業費		平成30年度	令和元年度	令和2年度	
	特定財源	国・県支出金	23,072 千円	22,623 千円	32,096 千円	
		地方債	0 千円	0 千円	0 千円	
		その他	0 千円	0 千円	0 千円	
		一般財源	0 千円	0 千円	0 千円	
一般財源		23,072 千円	22,623 千円	32,096 千円		
活動指標	指標名		単位	平成30年度	令和元年度	令和2年度
	給食日	日	計画	200	200	200
			実績	200	200	190
			計画			
実績						
令和2年度 実績			特記事項			
<ul style="list-style-type: none"> <li>・学校給食協議会を通じ、各学校の取組をそれぞれのPTAと情報共有した。</li> <li>・調理主任会、衛生責任者会、栄養士会、各々の会議で、各校取り組み状況を共有しマニュアル改訂整備の検討を行った。</li> </ul>						
目標の実現に向けた今後の取り組み					今後の方針	維持
<ul style="list-style-type: none"> <li>・栄養士、調理主任、衛生責任者、その他給食調理員の取組を共有するとともに、検証及び適宜改定を行う。自校方式を継続し、給食調理業務の委託化に向け、検討を進めていく。</li> </ul>						

政策 1 心豊かで自立できる人が育つまち  
 施策 1-1 教育環境の充実を図り、子どもたちの「生きる力」を育みます

事務事業名		新規・継続	施策内順位				
中学校保健事業		継続	14				
会計・款・項・目		所管課	市長公約事項				
一般会計・10教育費・3中学校費・1学校管理費		学校教育課	1:無				
事業概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>・傷害保険の給付</li> <li>・中学校における生徒・教職員を対象とした各種検診・検査の実施</li> </ul>						
投入指標	年度別事業費		平成30年度	令和元年度	令和2年度		
	特定財源	国・県支出金	7,368 千円	6,956 千円	7,262 千円		
		地方債	0 千円	0 千円	0 千円		
		その他	0 千円	0 千円	0 千円		
		一般財源	1,609 千円	1,170 千円	1,215 千円		
一般財源		5,759 千円	5,786 千円	6,047 千円			
活動指標	指標名		単位	平成30年度	令和元年度	令和2年度	
	該当事件数に対する給付件数の割合		%	計画	100	100	100
				実績	100	100	100
				計画			
実績							
令和2年度 実績			特記事項				
<ul style="list-style-type: none"> <li>・養護補助員を事務局へ1名配置し、学校との連絡、連携を密に行ない、事案の早期把握に努めた。給付件数229件</li> <li>・ストレスチェックは、法で定める対象学校(1校)を実施した。</li> </ul>							
目標の実現に向けた今後の取り組み							
小諸市養護委員会で情報を共有する。					今後の方針	維持	

政策 1 心豊かで自立できる人が育つまち  
 施策 1-1 教育環境の充実を図り、子どもたちの「生きる力」を育みます

事務事業名		新規・継続	施策内順位				
中学校教育振興事業		継続	19				
会計・款・項・目		所管課	市長公約事項				
一般会計・10教育費・3中学校費・2教育振興費		学校教育課	1:無				
事業概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>・部活動が外部指導者として市内の人材を活用した際の当該指導者に対する謝礼の支払い</li> <li>・中学校の理科教育備品の整備</li> </ul>						
投入指標	年度別事業費		平成30年度	令和元年度	令和2年度		
	特定財源	国・県支出金	2,122 千円	3,323 千円	2,273 千円		
		地方債	612 千円	1,029 千円	464 千円		
		その他	0 千円	0 千円	0 千円		
		一般財源	0 千円	0 千円	0 千円		
一般財源		1,510 千円	2,294 千円	1,809 千円			
活動指標	指標名		単位	平成30年度	令和元年度	令和2年度	
	実施学校数に対する補助金交付件数の割合		%	計画	100	100	100
				実績	100	100	100
	理科教育備品の必要な備品数に対する整備した備品数の割合		%	計画	100	100	100
実績				100	100	100	
令和2年度 実績			特記事項				
<ul style="list-style-type: none"> <li>・理科教育振興のため、補助金を活用し教材備品が各校均等となるよう備品の整備を行った。</li> <li>・部活動指導員を配置し、教員の負担軽減を図った。</li> </ul>							
目標の実現に向けた今後の取り組み							
<ul style="list-style-type: none"> <li>・部活動の抱える課題については、各校のニーズを踏まえ、関係課と連携して検討していく。</li> <li>・理科教育備品については、適正な事務処理を行う。</li> </ul>					今後の方針	維持	

政策 1 心豊かで自立できる人が育つまち  
 施策 1-1 教育環境の充実を図り、子どもたちの「生きる力」を育みます

事務事業名		新規・継続	施策内順位				
中学校ICT教育推進事業		継続	4				
会計・款・項・目		所管課	市長公約事項				
一般会計・10教育費・3中学校費・2教育振興費		学校教育課	1:無				
事業概要	・パソコン教室等、情報教育に係る環境の整備						
投入指標	年度別事業費		平成30年度	令和元年度	令和2年度		
	特定財源	国・県支出金	12,055 千円	9,956 千円	38,438 千円		
		地方債	0 千円	0 千円	0 千円		
		その他	0 千円	0 千円	0 千円		
		一般財源	12,055 千円	9,956 千円	38,438 千円		
活動指標	指標名		単位	平成30年度	令和元年度	令和2年度	
	生徒数に対するパソコン導入数の割合		%	計画	33	66	100
				実績	33	33	100
				計画			
実績							
令和2年度 実績			特記事項				
<ul style="list-style-type: none"> <li>ハード面(生徒の1人1台端末(Chromebook)の導入、校内のLAN(Wi-Fi)工事)がおおよそ完了。</li> <li>GIGAスクールサポーターによる教員研修等の取り組みを開始した。</li> </ul>							
目標の実現に向けた今後の取り組み <ul style="list-style-type: none"> <li>教員研修等のソフト面での支援について、学校間で格差が出ないように情報委員会で協議し、計画的に進める。</li> <li>情報機器を使用して発生した問題事例の把握、導入が必要なソフト・アプリの検討等に取り組む。</li> </ul>					今後の方針	維持	

政策 1 心豊かで自立できる人が育つまち  
 施策 1-1 教育環境の充実を図り、子どもたちの「生きる力」を育みます

事務事業名		新規・継続	施策内順位				
中学校教育支援事業		継続	9				
会計・款・項・目		所管課	市長公約事項				
一般会計・10教育費・3中学校費・2教育振興費		学校教育課	1:無				
事業概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>遠距離通学生徒の保護者に対する補助金の交付</li> <li>要保護・準要保護世帯に対する就学援助費の支給</li> <li>特別支援教室に通う生徒の保護者に対する就学奨励費の支給</li> </ul>						
投入指標	年度別事業費		平成30年度	令和元年度	令和2年度		
	特定財源	国・県支出金	18,647 千円	16,113 千円	15,674 千円		
		地方債	383 千円	494 千円	192 千円		
		その他	0 千円	0 千円	0 千円		
		一般財源	18,264 千円	15,619 千円	15,482 千円		
活動指標	指標名		単位	平成30年度	令和元年度	令和2年度	
	該当世帯件数に対するの補助金交付件数の割合		%	計画	100	100	100
				実績	100	100	100
				計画			
実績							
令和2年度 実績			特記事項				
就学援助費(翌年度入学生徒新入学学用品費)を認定した家庭に年度内に支給することができた。							
目標の実現に向けた今後の取り組み 就学援助費については、引き続き複数の職員による支給要件や支給金額の確認を行い、支給を行う。通常の事業の周知のほか、7月に再度事業の周知(保護者宛通知を学校経由で配布する。)を行い、新型コロナウイルス感染症の影響により経済的に困窮した世帯に対して就学援助費申請の機会を確保する。					今後の方針	維持	

政策 1 心豊かで自立できる人が育つまち  
 施策 1-1 教育環境の充実を図り、子どもたちの「生きる力」を育みます

事務事業名		新規・継続	施策内順位				
奨学費運営費		継続	23				
会計・款・項・目		所管課	市長公約事項				
小諸市奨学資金特別会計・1奨学費・1奨学費・1奨学費		学校教育課	1:無				
事業概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>・小諸市奨学金審査会の運営</li> <li>・小諸市大津秀子奨学金の貸付と返済受納</li> <li>・小諸市あさま奨学金の給付</li> </ul>						
投入指標			平成30年度	令和元年度	令和2年度		
	年度別事業費		40 千円	24 千円	307 千円		
	特定財源	国・県支出金	0 千円	0 千円	0 千円		
		地方債	0 千円	0 千円	0 千円		
		その他	40 千円	24 千円	307 千円		
一般財源		0 千円	0 千円	0 千円			
活動指標	指標名		単位	平成30年度	令和元年度	令和2年度	
	審査基準を満たした利用希望者数に対する貸付件数の割合		%	計画	100	100	100
				実績	100	100	100
				計画			
実績							
令和2年度 実績				特記事項			
ホームページ、中学校、地元高等学校や近隣高等学校へ募集案内を送付し、制度の周知を図った。							
目標の実現に向けた今後の取り組み ホームページ、中学校、市内在住者が在籍する高等学校へ募集案内を送付し、制度の周知を引き続き行う。					今後の方針	維持	

政策 1 心豊かで自立できる人が育つまち  
 施策 1-1 教育環境の充実を図り、子どもたちの「生きる力」を育みます

事務事業名		新規・継続	施策内順位				
奨学費貸付事業		継続	22				
会計・款・項・目		所管課	市長公約事項				
小諸市奨学資金特別会計・1奨学費・1奨学費・1奨学費		学校教育課	1:無				
事業概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>・小諸市大津秀子奨学金の貸付と返済受納</li> </ul>						
投入指標			平成30年度	令和元年度	令和2年度		
	年度別事業費		5,880 千円	6,060 千円	5,520 千円		
	特定財源	国・県支出金	0 千円	0 千円	0 千円		
		地方債	0 千円	0 千円	0 千円		
		その他	5,880 千円	6,060 千円	5,520 千円		
一般財源		0 千円	0 千円	0 千円			
活動指標	指標名		単位	平成30年度	令和元年度	令和2年度	
	審査基準を満たした利用希望者数に対する貸付件数の割合		%	計画	100	100	100
				実績	100	100	100
				計画			
実績							
令和2年度 実績				特記事項			
奨学金については16名への貸付を行い、返済金については滞ることなく受納した。							
目標の実現に向けた今後の取り組み ホームページ、中学校、市内在住者が在籍する高等学校へ募集案内を送付し、制度の周知を引き続き行う。					今後の方針	維持	

政策 1 心豊かで自立できる人が育つまち  
 施策 1-1 教育環境の充実を図り、子どもたちの「生きる力」を育みます

事務事業名		新規・継続	施策内順位				
奨学金給付事業		継続	21				
会計・款・項・目		所管課	市長公約事項				
小諸市奨学資金特別会計・1奨学費・1奨学費・1奨学費		学校教育課	1:無				
事業概要	小諸市あさま奨学金の給付						
投入指標			平成30年度	令和元年度	令和2年度		
	年度別事業費		960 千円	960 千円	960 千円		
	特定財源	国・県支出金	0 千円	0 千円	0 千円		
		地方債	0 千円	0 千円	0 千円		
		その他	960 千円	960 千円	960 千円		
一般財源		0 千円	0 千円	0 千円			
活動指標	指標名		単位	平成30年度	令和元年度	令和2年度	
	審査基準を満たした利用希望者数に対する給付件数の割合		%	計画	100	100	100
				実績	100	100	100
				計画			
実績							
令和2年度 実績				特記事項			
前年度に継続して2名に奨学金を給付した。 要件緩和に係る給付条例等の改正を行った。							
目標の実現に向けた今後の取り組み							
ホームページ、中学校、市内在住者が在籍する高等学校へ募集案内を送付し、制度の周知を引き続き行う。				今後の方針	維持		

事務事業名				新規・継続	
小学校管理費給与費				継続	
会計・款・項・目				所管課	
一般会計・10教育費・2小学校費・1学校管理費				学校教育課	
投入 指標			平成30年度	令和元年度	令和2年度
	年度別事業費		76,855 千円	81,696 千円	83,703 千円
	特定 財源	国・県支出金	0 千円	0 千円	0 千円
		地方債	0 千円	0 千円	0 千円
		その他	0 千円	0 千円	0 千円
一般財源		76,855 千円	81,696 千円	83,703 千円	
事務事業名				新規・継続	
中学校管理費給与費				継続	
会計・款・項・目				所管課	
一般会計・10教育費・3中学校費・1学校管理費				学校教育課	
投入 指標			平成30年度	令和元年度	令和2年度
	年度別事業費		30,121 千円	30,922 千円	30,814 千円
	特定 財源	国・県支出金	0 千円	0 千円	0 千円
		地方債	0 千円	0 千円	0 千円
		その他	0 千円	0 千円	0 千円
一般財源		30,121 千円	30,922 千円	30,814 千円	
事務事業名				新規・継続	
事務局給与費				継続	
会計・款・項・目				所管課	
一般会計・10教育費・1教育総務費・1教育委員会費				学校教育課	
投入 指標			平成30年度	令和元年度	令和2年度
	年度別事業費		129,110 千円	130,838 千円	141,544 千円
	特定 財源	国・県支出金	0 千円	0 千円	0 千円
		地方債	0 千円	0 千円	0 千円
		その他	0 千円	0 千円	0 千円
一般財源		129,110 千円	130,838 千円	141,544 千円	
事務事業名				新規・継続	
学校施設補助災害復旧事業				新規	
会計・款・項・目				所管課	
一般会計・11災害復旧費・3公立学校施設災害復旧費				学校教育課	
投入 指標			平成30年度	令和元年度	令和2年度
	年度別事業費		0 千円	0 千円	2,494 千円
	特定 財源	国・県支出金	0 千円	0 千円	1,464 千円
		地方債	0 千円	0 千円	700 千円
		その他	0 千円	0 千円	0 千円
一般財源		0 千円	0 千円	330 千円	
事務事業名				新規・継続	
学校施設単独災害復旧事業				新規	
会計・款・項・目				所管課	
一般会計・11災害復旧費・3公立学校施設災害復旧費				学校教育課	
投入 指標			平成30年度	令和元年度	令和2年度
	年度別事業費		0 千円	0 千円	949 千円
	特定 財源	国・県支出金	0 千円	0 千円	14 千円
		地方債	0 千円	0 千円	0 千円
		その他	0 千円	0 千円	0 千円
一般財源		0 千円	0 千円	935 千円	

政策 1	心豊かで自立できる人が育つまち
施策 1-2	安心して子どもを産み育てることができる環境づくりに、社会全体(みんな)で取り組みます

所 管	子ども育成課
関 連	—
関 連	—
関 連	—
関 連	—
関 連	—

◆現状と課題

少子化、核家族化の進行や、地域の人と人とのつながりの希薄化、共働き家庭の増加など、子どもと子育て家庭を取り巻く環境が大きく変化している。これに伴って、子育てに関するニーズが増大するとともに多様化が進み、その対応が求められている。

今後も少子化が進行する中、将来にわたってより良い保育環境が提供できるよう、ニーズにあった多様な保育の充実と、需要を満たす教育・保育施設の受け入れの確保、増加傾向にある特別な教育的ニーズのある子どもへの適切な支援、また社会問題となっている児童虐待の防止対策などが課題となっている。

◆方針

目的
<p>家庭における子育ての負担や不安、孤立化を和らげ、安心して子育てができる環境づくりを、行政だけでなく、家庭ですべきこと、地域で支え合えることなど役割分担をしながら社会全体(みんな)で取り組む。</p> <p>ファミリーサポートセンターや病児保育事業など多様な保育を充実するとともに、保育園においては、私立と連携しながら需要に対応する受け入れを確保し、また効率的に施設運営を継続するため、保育園の再配置計画の策定を進める。特別な教育的ニーズのある子どもに対しては、自立と社会参加に向けた支援を行う。児童虐待の対応においては、関係機関が連携して発生予防、早期発見、発生時の迅速な対応・支援を行う。</p>

◆令和2年度重点方針と目標

- ・統合保育園の整備については、設計や開発行為等法的な手続きを完了し、令和3年度の園舎建築に向け、地質調査、50mプールの撤去、敷地造成工事を進める。
- ・子育て支援の充実を図る一環として、ファミリーサポートセンター事業を実施する。
- ・複合型中心拠点誘導施設の病児病後時保育施設運営事業は、利用・運営計画をこもろ医療センターと協議しながら策定する。また院内保育施設のテナントの予約契約を締結する。
- ・保育園給食の調理業務委託は、保護者等へ説明を行い、委託業者を決定する手続きを進め、令和3年度から委託業務を開始する。

◆目標

・目標の計画と達成状況

計 画
<p>①社会全体(みんな)の取り組みによって、安心して子育てができる環境が充実した状態。</p> <p>②特別な教育的ニーズのある子どもが、周囲に理解されながら有効な支援をうけることにより、状況の改善や生活力の向上が図られ、より良い成長が促される状態。</p> <p>③児童虐待においては、関係機関が児童等に関する情報や支援方針を共有し的確な対応を行うことにより、子どもが適切な養育を受けられる状態。</p>

◆実績

令和2年度実績	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・統合新保育園の整備は、建設場所の地質調査を行い安全性を確認した。また50mプールの解体撤去を行った。設計については保育園職員との打合わせを重ね現場の意見を反映するとともに、関係部署との調整を行い設計業務を完了した。</li> <li>・社協の委託によるファミリーサポートセンター事業を4月から開始、コロナの影響で具体的な利用は10月以降となった。会員も当初から増加した。</li> <li>・保育園給食の調理業務委託は、市民懇談会を開催するなど保護者等へ説明を行い委託による運営方針を定めた。委託業者をプロポーザル方式により決定し、令和3年4月から委託業務開始の準備を整えた。</li> <li>・複合型中心拠点誘導施設の病児病後時保育事業は、こもる医療センターと具体的な運営内容を検討するとともに、事業委託料や併設する院内保育のテナント料について令和4年度契約に向け協議を整えた。</li> </ul>	

◆成果指標(アウトカム)

・目標の計画と達成状況

指標名	子育てしやすい環境づくりに対する市民満足度(市民意識調査)						
設定理由	子どもが心身ともに健やかに育つために、安心して子育てができる環境が必要であるから。						
算式						単位	%
目標値	計画策定時		令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	
	55.8	計画	56.5	57.0	57.5	58.0	
		実績	55.2				
指標名	要保護児童対策地域協議会の進行管理ケースの中で支援が終了したケースの割合						
設定理由	児童虐待があった、またそのリスクの高い家庭を積極的に支援し、児童等の適切な養育につなげるため。						
算式						単位	%
目標値	計画策定時		令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	
	19	計画	20	20	20	20	
		実績	44				
指標名							
設定理由							
算式						単位	
目標値	計画策定時		令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	
		計画					
		実績					

◆目標の実現に向けた今後の取り組み

今後の方針	拡充
-------	----

<ul style="list-style-type: none"> <li>・統合新保育園の建設をスケジュール通り進め、令和4年4月に芦原と中央保育園からスムーズに移行し開園できるよう準備を進める。</li> <li>・「病児病後児保育施設」を複合型中心拠点誘導施設の開設と合わせて開始する。</li> <li>・「ファミリーサポートセンター」は委託先の社会福祉協議会と連携し、複合型中心拠点誘導施設へ事務所を移設後も継続して会員の拡大・育成を進め事業の充実を図る。</li> <li>・保育所給食は委託後の調理業務を適正に評価し、安心安全な心のこもった給食の提供を継続する。</li> <li>・支援が必要な児童生徒が増える中、学校と協議しながら効果的・効率的な支援体制を整える。また教育支援に携わる指導者の資質向上に努める。</li> <li>・児童虐待の発生予防、早期発見、発生時の迅速・的確な対応等を行う支援拠点を位置付け、子どもとその家庭に必要な支援を関係機関と連携して行う。</li> </ul>
---

◆個別計画

教育振興基本計画／子ども・子育て支援事業計画／地域福祉計画・地域福祉活動計画
--

◆特記事項

--

政策 1 心豊かで自立できる人が育つまち  
 施策 1-2 安心して子どもを産み育てることができる環境づくりに、社会全体(みんな)で取り組みます

事務事業名		新規・継続	施策内順位				
保育所運営事業		継続	2				
会計・款・項・目		所管課	市長公約事項				
一般会計・3民生費・3児童福祉費・3保育所費		子ども育成課	2:有				
事業概要	0歳から5歳までの乳児又は幼児を子育てする保護者が、就労等により保育を必要とする場合に対して保育をするため、公立保育園(児童福祉法第39条による保育施設)を運営する。						
投入指標			平成30年度	令和元年度	令和2年度		
	年度別事業費		359,326 千円	358,985 千円	352,224 千円		
	特定財源	国・県支出金	0 千円	1,462 千円	0 千円		
		地方債	0 千円	0 千円	0 千円		
		その他	16,123 千円	27,724 千円	62,116 千円		
一般財源		343,203 千円	329,799 千円	290,108 千円			
活動指標	指標名		単位	平成30年度	令和元年度	令和2年度	
	待機児童数		人	計画	0	0	0
				実績	0	0	0
				計画			
実績							
令和2年度 実績			特記事項				
<ul style="list-style-type: none"> <li>子ども・子育て支援事業計画に沿った事業等を実施した。</li> <li>施設修繕などのハード面と避難訓練などのソフト面を実施し、保育所の安全対策を徹底した。</li> <li>給食調理業務について、プロポーザル方式により2者の選定を行い、令和3年度からの業務開始に向けて必要な事務処理を適切に実施した。</li> <li>施設の消毒やマスクの着用など感染対策を徹底し、コロナ対策に取り組んだ。</li> <li>保育士不足や年度途中での離職が多い中、保育士の求人について、様々なツールを通して実施した。</li> <li>保育士の職場改善や保護者の利便性の向上等に向け、ICT化の検討を行った。</li> </ul>			<ul style="list-style-type: none"> <li>保育所の運営について、施設の老朽化や統廃合、民営化などの課題がある。</li> <li>社会環境の変化により、3歳未満児の入所ニーズが増えており、保育士不足が懸念される。</li> <li>R3より「運動遊び事業」を「保育所運営事業」に含める。</li> </ul>				
目標の実現に向けた今後の取り組み					今後の方針	維持	
<ul style="list-style-type: none"> <li>子ども・子育て支援事業計画に沿った事業等を実施する。</li> <li>施設修繕などハード面での対策と避難訓練などソフト面での対策を実施し、保育所の安全対策を徹底していく。</li> <li>給食調理業務について、委託開始後の評価を行い、適正な運営を図る。</li> <li>施設の消毒やマスクの着用など感染対策を徹底し、コロナ対策に取り組む。</li> <li>保育士不足の中、様々なツールを活用して保育士の確保を図る。</li> <li>保育士の職場改善や保護者の利便性の向上等に向け、ICT化の検討を進める。</li> </ul>							

政策 1 心豊かで自立できる人が育つまち  
 施策 1-2 安心して子どもを産み育てることができる環境づくりに、社会全体(みんな)で取り組みます

事務事業名		新規・継続	施策内順位				
子ども・子育て支援事業		継続	1				
会計・款・項・目		所管課	市長公約事項				
一般会計・3民生費・3児童福祉費・3保育所費		子ども育成課	1:無				
事業概要	子育て世帯への支援・子どもの成長支援の総合的な展開を平成27年度施行「子ども・子育て支援新制度」により図る。また、新制度による新たな認定・給付システムの運用を準備・運用・運営する。そのため、就学前の子育て支援に関係する事業(私立保育園、認定子ども園、家庭的保育事業等)を統一的に所管・実施する。						
投入指標			平成30年度	令和元年度	令和2年度		
	年度別事業費		305,576 千円	353,708 千円	653,333 千円		
	特定財源	国・県支出金	202,627 千円	233,917 千円	572,516 千円		
		地方債	0 千円	0 千円	0 千円		
		その他	18,319 千円	13,753 千円	0 千円		
一般財源		84,630 千円	106,038 千円	80,817 千円			
活動指標	指標名		単位	平成30年度	令和元年度	令和2年度	
	待機児童数		人	計画	0	0	0
				実績	0	0	0
				計画			
実績							
令和2年度 実績			特記事項				
<ul style="list-style-type: none"> <li>子ども・子育て支援事業計画に沿って、事業等を確実に実施した。</li> <li>病児病後児保育施設の開設、ファミリーサポートセンター事業の推進と移転について、市民ニーズを捉えながら関係者との協議を行い、適切に準備を進めた。</li> <li>認定子ども園の建替補助事業をはじめ各種補助事業等について、適切に事務を行った。</li> </ul>			【事業名変更:(変更後)子ども・子育て支援事業費】				
目標の実現に向けた今後の取り組み					今後の方針	維持	
<ul style="list-style-type: none"> <li>子ども・子育て支援事業計画に沿って、事業等を確実に実施する。</li> <li>病児病後児保育事業の開設、ファミリーサポートセンターの事務所移転と事業の推進について、市民ニーズを捉えながら関係者との協議を行い、適切に運営を行う。</li> <li>各種補助事業等について、適切に事務を行う。</li> </ul>							

政策 1 心豊かで自立できる人が育つまち  
 施策 1-2 安心して子どもを産み育てることができる環境づくりに、社会全体(みんな)で取り組みます

事務事業名		新規・継続	施策内順位			
運動遊び事業		継続	11			
会計・款・項・目		所管課	市長公約事項			
一般会計・3民生費・3児童福祉費・3保育所費		子ども育成課	1:無			
事業概要	<p>学力・体力・道徳心の向上のための「運動遊び」の実践(脳科学の視点から、3歳から5歳までの幼児期の全身運動が「ころ」と「からだ」ひいては学力向上に大きく影響するという考えから)</p> <p>・公立保育園全園、私立保育園全園、子どもセンター(こもろっじ)、ひまわり園で、また、希望する私立幼稚園及び小学校で運動保育士による巡回指導の実施</p> <p>・事業推進のため保育園・幼稚園・小学校関係者等に対する研修会・講演会等の開催</p>					
投入指標	年度別事業費		平成30年度	令和元年度	令和2年度	
	特定財源	国・県支出金	5,670 千円	3,993 千円	2,989 千円	
		地方債	0 千円	0 千円	0 千円	
		その他	0 千円	0 千円	0 千円	
		一般財源	5,670 千円	3,993 千円	2,989 千円	
活動指標	指標名		単位	平成30年度	令和元年度	令和2年度
	プログラム実施保育園数	回	計画	10	10	10
			実績	10	10	14
	プログラム実施日数	日	計画	162	162	162
			実績	162	162	73
令和2年度 実績				特記事項		
<p>・専門家が主体として進める方式は最終年度となることから、次年度以降、各施設の職員が主体となって進められるよう、スキルアップに取り組んだ。</p> <p>・年間で、14施設、73回実施した。</p>						
目標の実現に向けた今後の取り組み					今後の方針	維持
<p>・運動遊び事業は、令和3年度から「保育所運営事業」内に位置付けて事業を継続していく。</p> <p>・これまで積み上げてきた実績を活かし、各施設の職員が主体となって、運動遊び事業を展開していく。</p>						

政策 1 心豊かで自立できる人が育つまち  
 施策 1-2 安心して子どもを産み育てることができる環境づくりに、社会全体(みんな)で取り組みます

事務事業名		新規・継続	施策内順位			
保育所建設事業		継続	3			
会計・款・項・目		所管課	市長公約事項			
一般会計・3民生費・3児童福祉費・3保育所費		子ども育成課	1:無			
事業概要	<p>0歳から就学前までの乳幼児期は、生涯にわたる人間形成の基礎が培われる極めて重要な重要な時期であり、乳幼児の健やかな育ちを保障するための環境整備が不可欠である。</p> <p>現在7園ある公立保育園の中でも、建設から約40年が経過し、老朽化が著しく進行している「芦原保育園」と「中央保育園」について、将来的な子どもの減少及び効率的な保育園運営のため、利用していない南城公園50mプールに統合園を建設する。</p>					
投入指標	年度別事業費		平成30年度	令和元年度	令和2年度	
	特定財源	国・県支出金	0 千円	2,139 千円	36,171 千円	
		地方債	0 千円	0 千円	0 千円	
		その他	0 千円	0 千円	0 千円	
		一般財源	0 千円	2,139 千円	36,171 千円	
活動指標	指標名		単位	平成30年度	令和元年度	令和2年度
	待機児童数	人	計画	0	0	0
			実績	0	0	0
			計画			
			実績			
令和2年度 実績				特記事項		
<p>新保育園の令和4年度開園に向け以下の事業を実施した。</p> <p>・設計業務</p> <p>・50mプール解体撤去、造成工事</p> <p>新保育園の開園について、広報やホームページ等を活用し、市民への情報提供を行った。</p>						
目標の実現に向けた今後の取り組み					今後の方針	維持
<p>・設計管理業者や建設業者との綿密な連携を図り、建築工事を予定どおり進める。</p> <p>・新保育園の名称を市民参加で決めるなど、市民への情報提供を行っていく。</p> <p>・新保育園開設PJ会議を定期的に開催し、新保育園のコンセプトなど充実した保育内容を検討していく。</p>						

政策 1 心豊かで自立できる人が育つまち  
 施策 1-2 安心して子どもを産み育てることができる環境づくりに、社会全体(みんな)で取り組みます

事務事業名		新規・継続		施策内順位			
私立幼稚園補助事業		継続		12			
会計・款・項・目		所管課		市長公約事項			
一般会計・10教育費・1教育総務費・2学校運営費		子ども育成課		1:無			
事業概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>・私立幼稚園運営補助金の交付</li> <li>・私立幼稚園保護者への幼児教育保育無償化に伴う保育料等の交付</li> </ul>						
投入指標	平成30年度		令和元年度		令和2年度		
	年度別事業費		80,996 千円	126,736 千円	215,207 千円		
	特定財源	国・県支出金	25,927 千円	114,008 千円	149,789 千円		
		地方債	0 千円	0 千円	0 千円		
		その他	0 千円	0 千円	0 千円		
一般財源		55,069 千円	12,728 千円	65,418 千円			
活動指標	指標名		単位	平成30年度	令和元年度	令和2年度	
	該当件数に対する補助金交付件数の割合		%	計画	100	100	100
				実績	100	100	100
				計画			
実績							
令和2年度 実績				特記事項			
<ul style="list-style-type: none"> <li>・適正に補助金を交付した。</li> <li>・新制度導入により教育行政が担うべき幼児期の教育へ負担金を交付する。</li> </ul>							
<p style="text-align: center;">目標の実現に向けた今後の取り組み</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・市内の子どもの6割を保育している私立幼稚園の適正な運営を確保するため、幼児教育保育無償化による保育料等を適切に交付する。</li> </ul>							
				今後の方針	維持		

政策 1 心豊かで自立できる人が育つまち  
 施策 1-2 安心して子どもを産み育てることができる環境づくりに、社会全体(みんな)で取り組みます

事務事業名		新規・継続		施策内順位			
子どもセンター運営事業		継続		8			
会計・款・項・目		所管課		市長公約事項			
一般会計・10教育費・4子育て支援費・1子育て支援費		子ども育成課		1:無			
事業概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>・乳幼児期の子育て環境の向上のため親子が安心して過ごすことのできる施設運営</li> <li>・子育てについて情報を発信し、必要な育児相談を日常的に実施</li> <li>・放課後の児童生徒の安全対策、健全育成のための施設運営</li> </ul>						
投入指標	平成30年度		令和元年度		令和2年度		
	年度別事業費		26,868 千円	22,331 千円	19,534 千円		
	特定財源	国・県支出金	5,700 千円	3,235 千円	5,512 千円		
		地方債	0 千円	0 千円	0 千円		
		その他	70 千円	66 千円	60 千円		
一般財源		21,098 千円	19,030 千円	13,962 千円			
活動指標	指標名		単位	平成30年度	令和元年度	令和2年度	
	出生届け時・小学校入学説明会での案内配布率		%	計画	100	100	100
				実績	100	100	100
	利用者数		人	計画	43,000	43,000	43,000
実績				51,167	45,283	12,687	
令和2年度 実績				特記事項			
<ul style="list-style-type: none"> <li>・保護者がサービスを必要としたときに選択肢の一つとして検討できるよう、周知活動を実施した。</li> <li>・実施している施設サービスや事業などについて、現状を踏まえ改善等に取り組んだ。</li> <li>・コロナ禍の中、利用人数の制限や消毒等の感染対策に取り組んだ。</li> <li>・利用人数を制限したことから、電話等での子育て相談の充実に取り組んだ。</li> </ul>							
<p style="text-align: center;">目標の実現に向けた今後の取り組み</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・子ども支援事業計画に沿って事業を実施する。</li> <li>・利用者ニーズを把握した事業展開を行う。</li> <li>・コロナ禍の中、状況に応じた事業展開と感染対策の徹底を図る。</li> </ul>							
				今後の方針	維持		

政策 1 心豊かで自立できる人が育つまち  
 施策 1-2 安心して子どもを産み育てることができる環境づくりに、社会全体(みんな)で取り組みます

事務事業名		新規・継続	施策内順位				
児童クラブ運営事業		継続	10				
会計・款・項目		所管課	市長公約事項				
一般会計・10教育費・4子育て支援費・1子育て支援費		子ども育成課	1:無				
事業概要	・保護者が、就労等により保育を必要とする児童に対し、放課後の安全確保と、保護者に代わり健全な育成を図る施設の運営						
投入指標	平成30年度		令和元年度		令和2年度		
	年度別事業費		12,480 千円	11,607 千円	11,991 千円		
	特定財源	国・県支出金	6,186 千円	3,501 千円	5,278 千円		
		地方債	0 千円	0 千円	0 千円		
		その他	2,934 千円	3,201 千円	3,018 千円		
一般財源		3,360 千円	4,905 千円	3,695 千円			
活動指標	指標名		単位	平成30年度	令和元年度	令和2年度	
	該当小学校における新入学児童の保護者説明会の実施割合		%	計画	100	100	100
				実績	100	100	100
				計画			
実績							
令和2年度 実績			特記事項				
<ul style="list-style-type: none"> <li>子ども子育て支援事業計画の数年後に向けた施設や職員の在り方を意識し、計画に沿った運営を行った。</li> <li>コロナ禍の中、分散保育の実施や消毒・マスクの着用などの基本的な感染対策の徹底を図り、クラブの運営を行った。</li> </ul>							
目標の実現に向けた今後の取り組み							
<ul style="list-style-type: none"> <li>子ども子育て支援事業計画の数年後に向けた施設や職員の在り方を意識し、計画に沿った運営を行う。</li> <li>コロナ禍の中、分散保育の実施や消毒・マスクの着用などの基本的な感染対策の徹底を図り、クラブの運営を行う。</li> </ul>			今後の方針	維持			

政策 1 心豊かで自立できる人が育つまち  
 施策 1-2 安心して子どもを産み育てることができる環境づくりに、社会全体(みんな)で取り組みます

事務事業名		新規・継続	施策内順位				
児童施設運営事業		継続	9				
会計・款・項目		所管課	市長公約事項				
一般会計・10教育費・4子育て支援費・1子育て支援費		子ども育成課	1:無				
事業概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>児童に健全な遊びを通して、その健康を増進し、又は情操を豊かにする施設の運営</li> <li>18歳未満のすべての子どもを対象とし、遊び及び生活の援助と地域における子育て支援を行い、子どもを心身ともに健やかに育成する。</li> </ul>						
投入指標	平成30年度		令和元年度		令和2年度		
	年度別事業費		29,392 千円	29,027 千円	29,165 千円		
	特定財源	国・県支出金	0 千円	0 千円	0 千円		
		地方債	0 千円	0 千円	0 千円		
		その他	2,294 千円	2,511 千円	1,628 千円		
一般財源		27,098 千円	26,516 千円	27,537 千円			
活動指標	指標名		単位	平成30年度	令和元年度	令和2年度	
	該当小学校の新入学児童に対する保護者説明会の実施割合		%	計画	100	100	100
				実績	100	100	100
				計画			
実績							
令和2年度 実績			特記事項				
<ul style="list-style-type: none"> <li>子ども子育て支援事業計画及び新制度に沿った施設運営を行った。</li> <li>職員の確保や施設修繕を行った。</li> <li>コロナ禍の中、消毒やマスクの着用など基本的な感染対策の徹底を図り運営を行った。</li> </ul>			平成27年度より事業名「児童館等運営事業」に修正				
目標の実現に向けた今後の取り組み							
<ul style="list-style-type: none"> <li>子ども子育て支援事業計画及び新制度に沿った施設運営を行う。</li> <li>安定的に運営できるよう職員の確保を行う。</li> <li>必要な施設修繕を行い安全管理を徹底する。</li> <li>コロナ禍の中、消毒やマスクの着用など基本的な感染対策の徹底を図り運営する。</li> </ul>			今後の方針	維持			

政策 1 心豊かで自立できる人が育つまち  
 施策 1-2 安心して子どもを産み育てることができる環境づくりに、社会全体(みんな)で取り組みます

事務事業名		新規・継続	施策内順位			
就学指導支援事業		継続	7			
会計・款・項目		所管課	市長公約事項			
一般会計・10教育費・4子育て支援費・2子ども相談費		子ども育成課	2:有			
事業概要	・配慮を要する児童生徒への適切な就学指導及び教育支援を行なう					
投入指標			平成30年度	令和元年度	令和2年度	
	年度別事業費		4,525 千円	4,585 千円	3,862 千円	
	特定財源	国・県支出金	0 千円	0 千円	0 千円	
		地方債	0 千円	0 千円	0 千円	
		その他	0 千円	0 千円	0 千円	
一般財源		4,525 千円	4,585 千円	3,862 千円		
活動指標	指標名		単位	平成30年度	令和元年度	令和2年度
	教育相談での心理検査実施数	件	計画	70	70	70
			実績	102	100	98
				計画		
			実績			
令和2年度 実績				特記事項		
<p>・巡回訪問や特別支援コーディネーターとの連携により、就学相談から適切な学びの場の判断にスムーズにつなげることができた。</p> <p>・必要な児童生徒については、「配慮を要する子ども資料票」を作成し、関係機関における情報共有を丁寧に行った。</p>						
目標の実現に向けた今後の取り組み					今後の方針	維持
<p>・学校生活で配慮を必要とする児童生徒を把握し、保護者・学校・関係機関と連携し、個々の実情に合った支援が受けられるよう環境調整を行う。</p> <p>・就学相談、就学支援は「障がいのある子どもに対する早期から就学後までの一貫した教育支援の中の一部」と位置付けられているため、本事業を「特別支援教育等推進事業」に統合し、効果的な運用を図る。</p>						

政策 1 心豊かで自立できる人が育つまち  
 施策 1-2 安心して子どもを産み育てることができる環境づくりに、社会全体(みんな)で取り組みます

事務事業名		新規・継続	施策内順位			
家庭児童相談事業		継続	8			
会計・款・項目		所管課	市長公約事項			
一般会計・10教育費・4子育て支援費・2子ども相談費		子ども育成課	2:有			
事業概要	・児童福祉の充実と養育や家庭の経済状況等の様々な問題からくる、児童の家庭環境の整備や支援と相談を行う。					
投入指標			平成30年度	令和元年度	令和2年度	
	年度別事業費		2,320 千円	2,367 千円	2,110 千円	
	特定財源	国・県支出金	0 千円	0 千円	0 千円	
		地方債	0 千円	0 千円	0 千円	
		その他	0 千円	0 千円	0 千円	
一般財源		2,320 千円	2,367 千円	2,110 千円		
活動指標	指標名		単位	平成30年度	令和元年度	令和2年度
	家庭児童相談員の関わるハイリスク家庭の支援会議数	回	計画	24	24	24
			実績	7	4	3
				計画		
			実績			
令和2年度 実績				特記事項		
<p>・様々な要因により養育状況が芳しくない家庭の相談対応や環境調整等の支援は、関係機関との連携により、ある程度多面的に行うことができた。</p> <p>関係機関との連携により早期からの支援が可能となり、結果としてハイリスクな支援対象者が減少したと推測される。</p>						
目標の実現に向けた今後の取り組み					今後の方針	維持
<p>・母子相談員、保健師、ケースワーカー等と共に支援対象家庭の訪問や相談等を通じて、多面的な支援を行う。</p> <p>・幼稚園・保育園・小中学校等児童の所属機関との連携を密にし、必要に応じて支援会議の開催や専門機関への繋ぎを行うなど、養育環境の調整を図っていく。</p>						

政策 1 心豊かで自立できる人が育つまち  
 施策 1-2 安心して子どもを産み育てることができる環境づくりに、社会全体(みんな)で取り組みます

事務事業名		新規・継続	施策内順位			
教育支援センター等運営事業		継続	6			
会計・款・項目		所管課	市長公約事項			
一般会計・10教育費・4子育て支援費・2子ども相談費		子ども育成課	2:有			
事業概要	・幼児、児童及び生徒に関する教育相談並びに不登校改善等の教育的支援を行なう。					
投入指標	平成30年度		令和元年度		令和2年度	
	年度別事業費		10,371 千円	9,769 千円	8,990 千円	
	特定財源	国・県支出金	0 千円	0 千円	0 千円	
		地方債	0 千円	0 千円	0 千円	
		その他	0 千円	0 千円	0 千円	
一般財源		10,371 千円	9,769 千円	8,990 千円		
活動指標	指標名		単位	平成30年度	令和元年度	令和2年度
	センター職員による相談訪問件数	回	計画	480	480	480
			実績	814	766	442
	中間教室に通室している児童生徒の在籍校等への復帰率	%	計画	30	20	20
実績			14	16	40	
令和2年度 実績			特記事項			
<ul style="list-style-type: none"> <li>不登校の改善対策として、支援センターと学校が連携して家庭訪問等の支援を行うことにより、学校復帰や通室ができる生徒がいた。</li> <li>家庭内引きこもり児童生徒の情報共有ができ、家庭訪問を行う体制整備や不登校になる前の相談など、教育的支援が受けられるよう関係機関との連携を図った。</li> </ul>			相談訪問件数の減は、新型コロナウイルス感染症対策のため学校訪問や家庭訪問が制約されたことによる。			
目標の実現に向けた今後の取り組み						
<ul style="list-style-type: none"> <li>中間教室機能の強化として、通室している児童生徒の学習・生活支援を行う。また、中学校の不登校支援講師と連携して在籍校復帰への支援を行う。(令和3年度から不登校支援講師の予算を当事業へ移行する。)</li> <li>長期欠席による家庭内引きこもりの状態にある児童生徒に対し、所属校および保護者と連携を図り、家庭訪問等を通じてその子の学びの継続のための支援を行う。</li> <li>集団生活への不応等、悩みを抱えている児童生徒や保護者、また、担任等学校職員からの相談に応じ、その児童生徒が適切な教育的支援を受けられるよう、関係機関と連携していく。</li> </ul>					今後の方針	維持

政策 1 心豊かで自立できる人が育つまち  
 施策 1-2 安心して子どもを産み育てることができる環境づくりに、社会全体(みんな)で取り組みます

事務事業名		新規・継続	施策内順位			
特別支援教育等推進事業		継続	5			
会計・款・項目		所管課	市長公約事項			
一般会計・10教育費・4子育て支援費・2子ども相談費		子ども育成課	2:有			
事業概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>学校運営を補助し、特別支援学級に在籍する児童生徒や配慮を要する児童生徒への支援を行うために支援員を配置する。</li> <li>特に中学生の集団不応等や不登校の教育的支援を行うために、不登校支援講師を配置する。</li> <li>支援員や特別支援教育に関わる先生等のスキルアップや指導者となっていけるようにするため、研修や講演会等を実施する。</li> </ul>					
投入指標	平成30年度		令和元年度		令和2年度	
	年度別事業費		35,509 千円	38,078 千円	44,287 千円	
	特定財源	国・県支出金	0 千円	0 千円	0 千円	
		地方債	0 千円	0 千円	0 千円	
		その他	0 千円	0 千円	0 千円	
一般財源		35,509 千円	38,078 千円	44,287 千円		
活動指標	指標名		単位	平成30年度	令和元年度	令和2年度
	支援員の配置数	人	計画	23	21	21
			実績	24	21	21
	支援員の研修回数	回	計画	4	4	4
実績			3	3	2	
令和2年度 実績			特記事項			
<ul style="list-style-type: none"> <li>支援が必要な児童生徒の状況を把握し、学校と協議しながら支援員の効果的な配置を行った。</li> <li>指導主事による日常的な相談対応や情報共有、また、研修会の開催等により、特別支援教育に係る教職員等のスキルアップを図った。</li> <li>行動分析学の専門家による研修を実施し、知識や対応への理解を深めた。</li> </ul>			支援員から不登校支援講師に振り替えたため、配置数を変更した。			
目標の実現に向けた今後の取り組み						
<ul style="list-style-type: none"> <li>合理的配慮を必要とする児童生徒が増加する中、引き続き学校生活支援員を小中学校に配置する。配置にあたっては支援を必要とする児童生徒の状況を把握し、学校と協議しながら効果的な配置を行う。また、支援員のスキルアップを図るため研修を実施する。</li> <li>幼稚園、保育園、小中学校の特別支援教育を担当する職員のスキルアップのため、教育相談員による日常的な相談支援の他、定期的なカンファレンスや研修会等を実施する。また、行動分析学の専門家による研修を通じ、保育等の現場で支援を実践できる指導者の育成を図る。</li> </ul>					今後の方針	維持

事務事業名			新規・継続		
保育所費給与費			継続		
会計・款・項・目			所管課		
一般会計・3民生費・3児童福祉費・3保育所費			子ども育成課		
投入 指標		平成30年度	令和元年度	令和2年度	
		年度別事業費	150,938 千円	163,322 千円	155,914 千円
	特定 財源	国・県支出金	0 千円	0 千円	0 千円
		地方債	0 千円	0 千円	0 千円
		その他	0 千円	0 千円	0 千円
	一般財源	150,938 千円	163,322 千円	155,914 千円	



政策 1	心豊かで自立できる人が育つまち
施策 1-3	生涯にわたる市民の主体的な「学び」を促進し、「生涯学習社会」の実現を目指します

所 管	文化財・生涯学習課
関 連	—
関 連	—
関 連	—
関 連	—
関 連	—

◆現状と課題

図書館及び市民交流センターは開館以来多くの市民に利用いただいているが、文化センターは各施設とも利用者数が減少傾向で推移している。  
文化センター、美術館、記念館における各種講座等の参加者数は安定しているが、参加者の裾野を広げていくことが課題である。  
美術館・記念館等の生涯学習施設は経年劣化が進んでおり、施設全ての長寿命化を実施するためには、多額の費用を要する。

◆方針

目的
市民の主体的な「学び」を促進するため、魅力ある企画展や市民ニーズを踏まえた各種講座・教室を開催し、生涯学習の機会を創出する。併せて、市民が「学び」の成果を生かし、生きがいづくりにつながるような機会の創出を図る。 生涯学習施設については、各施設の老朽化等を踏まえ、今後のあり方を検討し、管理計画を策定する。 「音楽のまち・こもろ」を実現するため、作曲コンクールやミニコンサート等、まちじゅうに音楽があふれるよう事業の充実に取り組む。

◆令和2年度重点方針と目標

- ・市民ニーズを踏まえた各種講座や教室等の充実を図り、参加者が講座等で得た知識を地域で活かせるような取組を推進する。市民が、音楽の演奏・鑑賞をしやすい環境を整備する。
- ・市立小諸図書館の一部業務を委託したNPO法人「本途人舎」に対する事業評価を行う。
- ・生涯学習施設を快適に利用できるよう、長寿命化を含めた施設管理計画を策定する。

◆目標

・目標の計画と達成状況

計 画
①市民が主体的に学び、自らを高め、学びの成果を地域で活かし、生きがいをもって生活している状態。 ②生涯学習施設が適切に管理・運営され、市民が芸術・文化にいつでもふれることができる状態。 ③市民が作曲コンクールやミニコンサートなどにより音楽にふれ、生き生きと暮らしている状態。

◆実績

令和2年度実績	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・公民館、美術館、記念館、図書館などの生涯学習施設は、新型コロナウイルス感染拡大を受けて、何度も臨時休館を余儀なくされたため、入館者は例年に比べて減少したが、講座や教室、企画展、イベントなど、コロナ禍において出来ることを工夫しながら実施した。</li> <li>・生涯学習施設では、新型コロナウイルス感染症対策の徹底を図りながら、適切な管理運営に努めた。</li> <li>・作曲コンクールは、曲作りが初めての子どもも挑戦できるような部門を創設した。なお、毎月のミニコンサートは、コロナ禍において5回の開催にとどまった。</li> </ul>	

◆成果指標(アウトカム)

・目標の計画と達成状況

指標名	文化・芸術を身近に感じている人の割合(市民意識調査)					
設定理由	文化・芸術を身近に感じている人の割合が高まれば、市民の主体的な「学び」が促進されていると考えられるから。					
算式					単位   %	
目標値	計画策定時		令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
	—	計画	40	41	42	43
		実績	31.9			
指標名	芸術・文化に親しむ機会の充実に対する市民満足度(市民意識調査)					
設定理由	芸術・文化に親しむ機会の充実に対して満足と感じている人の割合が高くなれば、市民が芸術・文化にいつでもふれることができていると考えられるから。					
算式					単位   %	
目標値	計画策定時		令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
	65	計画	68	70	73	75
		実績	61.1			
指標名	ミニコンサートの鑑賞者数					
設定理由	ミニコンサートの鑑賞者数が多くなることにより、市民が音楽にふれ、生き生きと暮らすことができていると考えられるから。					
算式					単位   人	
目標値	計画策定時		令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
	727	計画	763	802	842	884
		実績	317			

◆目標の実現に向けた今後の取り組み

今後の方針

維持

<ul style="list-style-type: none"> <li>・新たな生活様式を実践する中で、市民ニーズを踏まえた魅力ある企画展や各種講座などを開催する。</li> <li>・新型コロナウイルス感染症対策を徹底し、生涯学習施設を快適に利用できるよう、適切な管理運営を行う。</li> <li>・各施設の老朽化を踏まえた長寿命化工事等の計画を策定する。</li> </ul>
--

◆個別計画

教育振興基本計画／子ども読書活動推進計画
----------------------

◆特記事項

--

政策 1 心豊かで自立できる人が育つまち  
 施策 1-3 生涯にわたる市民の主体的な「学び」を促進し、「生涯学習社会」の実現を目指します

事務事業名		新規・継続		施策内順位		
社会教育総務費運営費		継続		28		
会計・款・項目		所管課		市長公約事項		
一般会計・10教育費・6社会教育費・1社会教育総務費		文化財・生涯学習課		2:有		
事業概要	・市民が「いつでも、どこでも、なんでも」学ぶことができるように環境を整備し、生涯学習で得られた知識や経験が、地域社会、特に子ども若者の支援に還元される社会の形成を企画する。					
投入指標	平成30年度		令和元年度		令和2年度	
	年度別事業費		2,103 千円	1,927 千円	1,602 千円	
	特定財源	国・県支出金	0 千円	0 千円	0 千円	
		地方債	0 千円	0 千円	0 千円	
		その他	59 千円	175 千円	151 千円	
一般財源		2,044 千円	1,752 千円	1,451 千円		
活動指標	指標名		単位	平成30年度	令和元年度	令和2年度
	社会教育委員連絡会開催回数	回	計画	4	4	4
			実績	6	3	1
	社会教育委員行事参加要請回数	回	計画	5	5	5
実績			6	5	1	
令和2年度 実績			特記事項			
・出前講座を開催し、生涯学習の推進を図った。 ・社会教育委員連絡会を開催し、社会教育委員の役割についての研修や教育振興基本計画(素案)等についての意見交換を行った。			・活動指標を「出前講座の参加者数」から「社会教育委員行事参加要請回数」へ変更した。(R1年度～)			
目標の実現に向けた今後の取り組み						
・新型コロナウイルス感染症の影響で会議が開催できない状況にあっても、社会教育委員からの意見や提案をいただけるよう、社会教育委員長と連携を図り活動をサポートする。					今後の方針	維持

政策 1 心豊かで自立できる人が育つまち  
 施策 1-3 生涯にわたる市民の主体的な「学び」を促進し、「生涯学習社会」の実現を目指します

事務事業名		新規・継続		施策内順位		
小諸藤村文学賞事業		継続		18		
会計・款・項目		所管課		市長公約事項		
一般会計・10教育費・6社会教育費・1社会教育総務費		文化財・生涯学習課		1:無		
事業概要	「小諸・藤村文学賞」の作品募集、審査、表彰など (「小諸藤村文学賞」は、平成4年に、藤村生誕120年、没後50年を記念して創設された。作品の応募は、日本全国からにとどまらず、海外からの応募もあり、応募者はいまだに増加している。長年の継続により、レベルも向上してきている。)					
投入指標	平成30年度		令和元年度		令和2年度	
	年度別事業費		6,216 千円	5,636 千円	5,380 千円	
	特定財源	国・県支出金	0 千円	0 千円	0 千円	
		地方債	0 千円	0 千円	0 千円	
		その他	0 千円	0 千円	0 千円	
一般財源		6,216 千円	5,636 千円	5,380 千円		
活動指標	指標名		単位	平成30年度	令和元年度	令和2年度
	一般応募者数	人	計画	1,000	1,000	1,000
			実績	868	759	793
	高校生応募者数	人	計画	1,100	1,100	1,200
実績			1,110	975	528	
令和2年度 実績			特記事項			
・第27回小諸藤村文学賞の応募者総数は1,899人で、全国各地から応募があった。 ・第26回小諸藤村文学賞は、6月14日に本選考、8月21日に表彰式をオンラインで実施した。						
目標の実現に向けた今後の取り組み						
・若年層の応募者数を増やすため、インターネット公募サイトのほかSNSを使い応募を呼び掛ける。 ・新たに設けた市民対象の市長賞、教育長賞を含めた事業内容及び入選作品の紹介を市民に向けて行う。					今後の方針	維持

政策 1 心豊かで自立できる人が育つまち  
 施策 1-3 生涯にわたる市民の主体的な「学び」を促進し、「生涯学習社会」の実現を目指します

事務事業名		新規・継続		施策内順位			
成人式開催事業		継続		26			
会計・款・項目		所管課		市長公約事項			
一般会計・10教育費・6社会教育費・1社会教育総務費		文化財・生涯学習課		1:無			
事業概要	伝統儀式「成人式」の新成人(実行委員会)による自主的運営を支援していく環境づくり。						
投入指標	平成30年度		令和元年度		令和2年度		
	年度別事業費		497 千円	407 千円	430 千円		
	特定財源	国・県支出金	0 千円	0 千円	0 千円		
		地方債	0 千円	0 千円	0 千円		
		その他	0 千円	0 千円	0 千円		
一般財源		497 千円	407 千円	430 千円			
活動指標	指標名		単位	平成30年度	令和元年度	令和2年度	
	成人式の参加率		%	計画	75	75	75
				実績	69.8	75	未確定
				計画			
実績							
令和2年度 実績				特記事項			
<ul style="list-style-type: none"> <li>・新成人対象者の有志14名による実行委員会を組織し、式典を企画したが、新型コロナウイルス感染症の影響により令和3年8月14日に延期後、令和4年1月3日に再延期している。</li> </ul>							
目標の実現に向けた今後の取り組み					今後の方針	維持	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・新型コロナウイルスの感染防止対策を前提とした上で、実行委員による企画運営を行う。</li> <li>・SNSを活用し、市外居住の対象者への情報の発信を行う。</li> </ul>							

政策 1 心豊かで自立できる人が育つまち  
 施策 1-3 生涯にわたる市民の主体的な「学び」を促進し、「生涯学習社会」の実現を目指します

事務事業名		新規・継続		施策内順位			
史料館等管理事業		継続		17			
会計・款・項目		所管課		市長公約事項			
一般会計・10教育費・6社会教育費・1社会教育総務費		文化財・生涯学習課		1:無			
事業概要	生涯学習振興のうえで重要な位置を占めている社会教育関係施設を運営・維持管理し、住民ニーズへの柔軟、迅速、的確な対応と、新たに生じてくる現代的課題に対応する。						
投入指標	平成30年度		令和元年度		令和2年度		
	年度別事業費		7,463 千円	7,873 千円	6,809 千円		
	特定財源	国・県支出金	0 千円	0 千円	0 千円		
		地方債	0 千円	0 千円	0 千円		
		その他	25 千円	97 千円	43 千円		
一般財源		7,438 千円	7,776 千円	6,766 千円			
活動指標	指標名		単位	平成30年度	令和元年度	令和2年度	
	古文書の目録作成件数(累計)		冊	計画	3	4	5
				実績	3	4	5
	古文書学習講座の参加人数		人	計画	—	—	—
実績				496	398	282	
令和2年度 実績				特記事項			
<ul style="list-style-type: none"> <li>・古文書調査室において、旧家等の古文書の調査研究を行うとともに、市民を対象に古文書学習講座を開催し、延べ282名の参加があった。</li> <li>・市役所1階展示情報コーナーの一角において、古文書調査室や郷土博物館の所蔵資料等の展示を実施した。</li> </ul>				<ul style="list-style-type: none"> <li>・活動指標を見直し、学芸員の人数から古文書目録作成件数に変更した(R1年度～)</li> <li>・活動指標へ、新たに古文書学習講座の参加者延べ人数を追加した(R2年度～)</li> </ul>			
目標の実現に向けた今後の取り組み					今後の方針	維持	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・古文書調査室、市役所展示情報コーナー、広報こもろにより、古文書史・資料の調査の結果を公開する。</li> </ul>							

政策 1 心豊かで自立できる人が育つまち  
 施策 1-3 生涯にわたる市民の主体的な「学び」を促進し、「生涯学習社会」の実現を目指します

事務事業名		新規・継続	施策内順位			
音楽のまち・こもろ推進事業		継続	10			
会計・款・項目		所管課	市長公約事項			
一般会計・10教育費・6社会教育費・1社会教育総務費		文化財・生涯学習課	1:無			
事業概要	音楽には、人に元気や勇気、潤いや癒しを与え、人生を豊かにする力がある。まちじゅうに音楽があふれる「音楽のまち・こもろ」をめざして、作曲コンクールほか各種事業を推進する。					
投入指標	年度別事業費		平成30年度	令和元年度	令和2年度	
	特定財源	国・県支出金	721 千円	2,273 千円	1,865 千円	
		地方債	0 千円	0 千円	0 千円	
		その他	0 千円	0 千円	0 千円	
		一般財源	721 千円	2,273 千円	1,865 千円	
活動指標	指標名		単位	平成30年度	令和元年度	令和2年度
	音楽のまち・こもろ作曲コンクールの応募件数	件	計画	40	50	50
			実績	33	25	181
	ミニコンサートの開催回数	回	計画	—	12	7
			実績	—	10	5
令和2年度 実績			特記事項			
<ul style="list-style-type: none"> <li>従来の「作曲に挑戦！」部門に加え「たのしいメロディーに挑戦！」部門を新設して、第4回「音楽のまち・こもろ作曲コンクール」を開催し、10月25日に表彰式を行った。</li> <li>最優秀作品を夕方の防災行政無線のサインメロディーに採用した。</li> <li>ミニコンサートは、新型コロナウイルス感染症の影響により7回が中止となったが、感染防止対策をとりながら5回開催した。</li> </ul>			<ul style="list-style-type: none"> <li>※令和元年度より、事業名を「音楽のまち・こもろ作曲コンクール事業」から「音楽のまち・こもろ推進事業」に変更した。</li> <li>・活動指標へ「ミニコンサートの開催回数」を追加した。(R1年度～)</li> </ul>			
<p>目標の実現に向けた今後の取り組み</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・作曲コンクールの応募作品数を増やすため、作曲に関するセミナーを開催する。</li> <li>・音楽関係団体のネットワーク作りを支援する。</li> <li>・小中学校の音楽部活等へ専門講師を派遣する。</li> </ul>					今後の方針	維持

政策 1 心豊かで自立できる人が育つまち  
 施策 1-3 生涯にわたる市民の主体的な「学び」を促進し、「生涯学習社会」の実現を目指します

事務事業名		新規・継続	施策内順位			
青少年育成補導推進事業		継続	24			
会計・款・項目		所管課	市長公約事項			
一般会計・10教育費・6社会教育費・1社会教育総務費		文化財・生涯学習課	1:無			
事業概要	青少年の健全な成長の啓発及び地域での活動支援として、各地域や小中学校における事業の支援を行うほか、青少年の非行防止のための巡回活動、有害環境の排除を行う。					
投入指標	年度別事業費		平成30年度	令和元年度	令和2年度	
	特定財源	国・県支出金	4,053 千円	4,173 千円	3,964 千円	
		地方債	0 千円	0 千円	0 千円	
		その他	0 千円	0 千円	0 千円	
		一般財源	4,053 千円	4,173 千円	3,964 千円	
活動指標	指標名		単位	平成30年度	令和元年度	令和2年度
	公募による青少年補導委員	人	計画	4	4	4
			実績	3	3	2
	信州型コミュニティスクール推進事業交付金を活用した学校の数	校	計画	8	8	8
			実績	8	8	8
令和2年度 実績			特記事項			
<ul style="list-style-type: none"> <li>・新型コロナウイルス感染症の影響により、街頭啓発活動等の多くの活動が中止となったが、感染防止対策をとりながらセンター補導(1回)や支部補導(9支部で年1~2回ずつ)、青少年補導委員研修会などを実施した。</li> <li>・信州型コミュニティスクール推進事業を市内の全ての小中学校で実施した。</li> </ul>			青少年健全育成都市宣言に関する決議(平成9年3月21日)			
<p>目標の実現に向けた今後の取り組み</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・信州型コミュニティスクール事業の充実のため、他自治体の先進的な取組例を参考に事業のあり方を検討する。</li> </ul>					今後の方針	維持

政策 1 心豊かで自立できる人が育つまち  
 施策 1-3 生涯にわたる市民の主体的な「学び」を促進し、「生涯学習社会」の実現を目指します

事務事業名		新規・継続	施策内順位				
図書館運営事業		継続	1				
会計・款・項・目		所管課	市長公約事項				
一般会計・10教育費・6社会教育費・2図書館・市民交流センター費		文化財・生涯学習課	1:無				
事業概要	市立小諸図書館の基本理念「みんなの役に立ちます」と5つの基本方針に則った公共図書館の運営						
投入指標			平成30年度	令和元年度	令和2年度		
	年度別事業費		57,265 千円	69,839 千円	68,857 千円		
	特定財源	国・県支出金	0 千円	0 千円	0 千円		
		地方債	0 千円	0 千円	0 千円		
		その他	0 千円	1,751 千円	2,716 千円		
一般財源		57,265 千円	68,088 千円	66,141 千円			
活動指標	指標名		単位	平成30年度	令和元年度	令和2年度	
	来館者数		人	計画	—	210,000	210,000
				実績	223,674	236,513	124,798
	資料貸出し数		冊	計画	262,000	254,000	254,000
実績				255,343	267,527	202,973	
令和2年度 実績					特記事項		
<ul style="list-style-type: none"> <li>毎月開催する月例会を中心に、委託業務の実施状況、実施予定等の把握、課題の協議等を行い、業務を管理した。</li> <li>健康づくり課、高齢福祉課と連携した「健康・医療情報カレンダー」の作成・配布のほか各課と連携した取組を行った。</li> <li>子どもの読書活動を推進するため、市内小中学校司書会への参加や小学校への出張お話し会、読み聞かせボランティアの受け入れ等、関係機関等と連携した取組を行った。</li> </ul>					今後の方針	維持	
<p>目標の実現に向けた今後の取り組み</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>図書館業務の受託者が適正な業務を実施するよう、実施状況等の確認、協議等を行う。</li> <li>市役所各課や近隣の施設等と連携し、市民から必要とされる情報を提供する。</li> </ul>							

政策 1 心豊かで自立できる人が育つまち  
 施策 1-3 生涯にわたる市民の主体的な「学び」を促進し、「生涯学習社会」の実現を目指します

事務事業名		新規・継続	施策内順位				
市民交流センター運営事業		継続	8				
会計・款・項・目		所管課	市長公約事項				
一般会計・10教育費・6社会教育費・2図書館・市民交流センター費		文化財・生涯学習課	1:無				
事業概要	市民交流センターの運営						
投入指標			平成30年度	令和元年度	令和2年度		
	年度別事業費		9,697 千円	10,275 千円	12,491 千円		
	特定財源	国・県支出金	0 千円	0 千円	0 千円		
		地方債	0 千円	0 千円	0 千円		
		その他	3,852 千円	3,748 千円	2,504 千円		
一般財源		5,845 千円	6,527 千円	9,987 千円			
活動指標	指標名		単位	平成30年度	令和元年度	令和2年度	
	年間開館日数		日	計画	335	335	335
				実績	335	334	256
	開館時間(1日あたり)		時間	計画	13.5	13.5	13.5
実績				13.5	13.5	11.6	
令和2年度 実績					特記事項		
<ul style="list-style-type: none"> <li>新型コロナウイルス感染症の影響により、4/10～5/31、7/31～8/7、1/6～27を休館とし、他の期間もステラホールの入場人数を制限するなど、感染予防対策をとりながら開館した。</li> </ul>					今後の方針	維持	
<p>目標の実現に向けた今後の取り組み</p> <p>複合型中心拠点誘導施設の運営状況を見ながら、運営体制の検討を行う。</p>							

政策 1 心豊かで自立できる人が育つまち  
 施策 1-3 生涯にわたる市民の主体的な「学び」を促進し、「生涯学習社会」の実現を目指します

事務事業名		新規・継続	施策内順位			
公民館運営事業		継続	7			
会計・款・項目		所管課	市長公約事項			
一般会計・10教育費・6社会教育費・3公民館費		文化財・生涯学習課	1:無			
事業概要	趣味や教養を高める学習とともに、地域課題に直結する学習と実践を支援する施設として、施設の維持管理を行う。					
投入指標	年度別事業費		平成30年度	令和元年度	令和2年度	
	特定財源	国・県支出金	11,863 千円	12,356 千円	10,055 千円	
		地方債	0 千円	0 千円	0 千円	
		その他	0 千円	0 千円	0 千円	
		一般財源	1,192 千円	1,198 千円	553 千円	
一般財源		10,671 千円	11,158 千円	9,502 千円		
活動指標	指標名		単位	平成30年度	令和元年度	令和2年度
	公民館運営審議会の開催回数	回	計画	2	2	2
			実績	2	1	2
	こもろ女性の家運営委員会開催回数	回	計画	2	2	2
実績			2	1	2	
令和2年度 実績					特記事項	
<p>インターロッキング改修や通路補修など駐車場から建物までの歩道整備を行なった。また、新型コロナウイルス感染症拡大防止のためにロビーの椅子や机、書架等の配置見直しや整理を行ない、密にならないようにした。館内に手指消毒剤の設置、共有部分の消毒、部屋の利用人数制限、利用者名簿の提出依頼ほか対策を行なった。各施設の利用申込み及び備品の貸出しを公平に行なうために、予約の順番を抽選にて行なった。</p>						
目標の実現に向けた今後の取り組み					今後の方針	維持
<p>1 みんなが利用しやすいように公民館を運営し維持管理する。          2 災害時の住民受入れ対応のため、関係課と施設整備及び防災訓練を行なう。</p>						

政策 1 心豊かで自立できる人が育つまち  
 施策 1-3 生涯にわたる市民の主体的な「学び」を促進し、「生涯学習社会」の実現を目指します

事務事業名		新規・継続	施策内順位			
公民館報発行事業		継続	23			
会計・款・項目		所管課	市長公約事項			
一般会計・10教育費・6社会教育費・3公民館費		文化財・生涯学習課	1:無			
事業概要	広報こもろと併せた公民館報を編集し、発行する。					
投入指標	年度別事業費		平成30年度	令和元年度	令和2年度	
	特定財源	国・県支出金	2,457 千円	2,628 千円	2,614 千円	
		地方債	0 千円	0 千円	0 千円	
		その他	0 千円	0 千円	0 千円	
		一般財源	0 千円	0 千円	0 千円	
一般財源		2,457 千円	2,628 千円	2,614 千円		
活動指標	指標名		単位	平成30年度	令和元年度	令和2年度
	公民館報の発行回数	回	計画	12	12	12
			実績	12	12	12
			計画			
実績						
令和2年度 実績					特記事項	
<p>1 コロナ禍においてなかなか公民館活動ができない状態であったが、開催できた講座等については、市民にわかりやすく伝わるよう、写真を増やしキャプションを追加した。          2 公民館活動や講座や支館分館活動が出来なかったため記事の内容として、「人ひと」「えんぴつりレー」「みんなの宝物」「わたしの宝物」などを充実させた。</p>						
目標の実現に向けた今後の取り組み					今後の方針	維持
<p>1 公民館活動が年間にわたって、いつ、どこで、何の事業を開催するか、市民にわかりやすく伝わるように写真を取り入れたり、見出しを工夫していく。          2 多くの市民に読まれ、親しまれる館報となるように、「ぼくとわたしの作品」「えんぴつりレー」「わたしの宝物」などの身近な話題を伝えるコーナーを継続していく。</p>						

政策 1 心豊かで自立できる人が育つまち  
 施策 1-3 生涯にわたる市民の主体的な「学び」を促進し、「生涯学習社会」の実現を目指します

事務事業名		新規・継続		施策内順位		
支館・分館支援事業		継続		19		
会計・款・項目		所管課		市長公約事項		
一般会計・10教育費・6社会教育費・3公民館費		文化財・生涯学習課		1:無		
事業概要	最も身近な学習の拠点として、住民自らが生活地域の課題・室に気づき、課題を共有し、住民同士のつながりを作り出す地域づくりの実践をすすめる支館・分館活動への支援。					
投入指標	平成30年度		令和元年度		令和2年度	
	年度別事業費		5,903 千円	6,089 千円	5,837 千円	
	特定財源	国・県支出金	0 千円	0 千円	0 千円	
		地方債	0 千円	0 千円	0 千円	
		その他	0 千円	0 千円	0 千円	
一般財源		5,903 千円	6,089 千円	5,837 千円		
活動指標	指標名		単位	平成30年度	令和元年度	令和2年度
	公民館役員研修会	回	計画	3	3	3
			実績	3	3	1
			計画			
実績						
令和2年度 実績				特記事項		
公民館関係役員研修会は年1回の開催となった。内容は「小諸市の防災・避難所運営」についてと題し、危機管理課職員から説明をうけた。例年、各支館分館の活動事例発表を行なっているが、今年度はコロナ禍により各支館分館の事業中止が多く、発表できなかった。支館・分館活動モデル事業の実施もできなかった。						
目標の実現に向けた今後の取り組み						
公民館関係役員研修会では、支館・分館活動に役立つ講演会の開催を行なう。また、事例発表会を行い、他の公民館活動内容を傾聴することにより分館等活動の活発化の一助や参考となるようにする。小諸市公民館と地域が密接にかかわる支館・分館との連携と事業の充実をはかる。					今後の方針	維持

政策 1 心豊かで自立できる人が育つまち  
 施策 1-3 生涯にわたる市民の主体的な「学び」を促進し、「生涯学習社会」の実現を目指します

事務事業名		新規・継続		施策内順位		
学級・講座等開催事業		継続		20		
会計・款・項目		所管課		市長公約事項		
一般会計・10教育費・6社会教育費・3公民館費		文化財・生涯学習課		1:無		
事業概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>・各種学級・講座等の開催</li> <li>・自主学習グループの育成指導等</li> </ul>					
投入指標	平成30年度		令和元年度		令和2年度	
	年度別事業費		2,458 千円	2,404 千円	1,491 千円	
	特定財源	国・県支出金	0 千円	0 千円	0 千円	
		地方債	0 千円	0 千円	0 千円	
		その他	0 千円	0 千円	0 千円	
一般財源		2,458 千円	2,404 千円	1,491 千円		
活動指標	指標名		単位	平成30年度	令和元年度	令和2年度
	公民館の講座数	講座数	計画	38	38	38
			実績	47	49	30
	公民館の講座延べ回数	回	計画	170	170	170
実績			161	162	79	
令和2年度 実績				特記事項		
開催した学級・講座については、感染拡大防止対策を充分行なった。また、オンライン講座や特別講座の開講等など開催方法の工夫を行なった。各講座終了時のアンケート、人材バンク登録者等の情報を精査して講師依頼を行なった。						
活動指標「公民館の講座受講者数」から「公民館の講座延べ回数」へ変更した(R1年度～)						
目標の実現に向けた今後の取り組み						
講座申込数や、各学級・講座終了時にアンケート等で意見を集約し、市民のニーズを精査しながら、学級・講座を開設して市民に多様な学習機会を提供する。					今後の方針	維持

政策 1 心豊かで自立できる人が育つまち  
 施策 1-3 生涯にわたる市民の主体的な「学び」を促進し、「生涯学習社会」の実現を目指します

事務事業名		新規・継続	施策内順位			
文化センター運営事業		継続	2			
会計・款・項目		所管課	市長公約事項			
一般会計・10教育費・6社会教育費・4文化センター費		文化財・生涯学習課	2:有			
事業概要	文化会館等施設環境の整備をする。 市民文化の向上と文化振興を図るため、自主事業を開催する。 また、貸館で、利用者の利便を図る。					
投入指標	平成30年度		令和元年度		令和2年度	
	年度別事業費		28,481 千円	45,462 千円	21,587 千円	
	特定財源	国・県支出金	0 千円	0 千円	0 千円	
		地方債	0 千円	0 千円	0 千円	
		その他	5,753 千円	5,372 千円	1,890 千円	
一般財源		22,728 千円	40,090 千円	19,697 千円		
活動指標	指標名		単位	平成30年度	令和元年度	令和2年度
	文化会館ホールの設備改修	回	計画	舞台機構一式	舞台機構一式	—
			実績	なし 次年度へ	舞台機構一式	—
	自主公演事業開催回数	回	計画	2	3	3
実績			3	3	1	
令和2年度 実績			特記事項			
文化会館機材庫ピアノ庫に雨による浸水があったが、雨樋落ち葉除去、外壁塗装等対応した。建物に接触してきている樹木伐採を行なった。ホール利用団体数が減少した。自主事業コンサートは延期とした。市民音楽祭は、市民音楽活動発表として、個別の収録を行ないCTKで放映した。			文化会館は、昭和59年に建設後36年以上経て、ホール舞台機構設備一式の吊物ワイヤーロープ、制御盤、操作盤等は耐用年数が過ぎ経年劣化が著しいので更新・改修を進め、安全で快適な設備環境を整える。令和元年度に続き、令和3年度工事予定である。			
目標の実現に向けた今後の取り組み						
文化会館が開館してから37年が経とうとしている。舞台機構、会館施設設備等経年劣化が著しい。吊り天井、冷暖房設備、上水管設備、雨漏りをはじめ課題が多い。総合的に会館施設設備改修計画を進めて維持管理していく。また、自主公演事業を文化芸術の発信拠点として、企画、実施していく。					今後の方針	維持

政策 1 心豊かで自立できる人が育つまち  
 施策 1-3 生涯にわたる市民の主体的な「学び」を促進し、「生涯学習社会」の実現を目指します

事務事業名		新規・継続	施策内順位			
小山敬三美術館運営事業		継続	11			
会計・款・項目		所管課	市長公約事項			
一般会計・10教育費・6社会教育費・5美術館・博物館費		文化財・生涯学習課	1:無			
事業概要	小山敬三美術館の運営・維持管理 (選び抜かれた作品を集め、長く安全に保管することで、多くの人々に作品鑑賞の機会を提供し、多様な文化、歴史、感性があることを知ってもらおう。)					
投入指標	平成30年度		令和元年度		令和2年度	
	年度別事業費		15,177 千円	17,248 千円	28,797 千円	
	特定財源	国・県支出金	0 千円	0 千円	0 千円	
		地方債	0 千円	0 千円	13,600 千円	
		その他	3,788 千円	3,426 千円	447 千円	
一般財源		11,389 千円	13,822 千円	14,750 千円		
活動指標	指標名		単位	平成30年度	令和元年度	令和2年度
	入館者数	人	計画	21,500	22,000	22,000
			実績	19,315	19,378	10,377
			計画			
実績						
令和2年度 実績			特記事項			
・新型コロナウイルス感染症の影響により、企画展、写生会、絵画展を中止としたが、感染予防対策をとりながら美術講演会、公募展等を開催した。 ・建築物の芸術的価値を確保しながら屋根の防水改修工事を実施した。						
目標の実現に向けた今後の取り組み						
・魅力ある自主事業を企画し、市内外に向け情報発信を強化する。					今後の方針	維持

政策 1 心豊かで自立できる人が育つまち  
 施策 1-3 生涯にわたる市民の主体的な「学び」を促進し、「生涯学習社会」の実現を目指します

事務事業名		新規・継続		施策内順位		
高原美術館・白鳥映雪館運営事業		継続		12		
会計・款・項目		所管課		市長公約事項		
一般会計・10教育費・6社会教育費・5美術館・博物館費		文化財・生涯学習課		1:無		
事業概要	高原美術館・白鳥映雪館の運営・維持管理 (選び抜かれた作品を集め、長く安全に保管・展示することで、多くの人々に作品鑑賞の機会を提供し、多様な文化、歴史、感性があることを知らせる。)					
投入指標	年度別事業費		平成30年度	令和元年度	令和2年度	
	特定財源	国・県支出金	21,855 千円	22,261 千円	20,817 千円	
		地方債	0 千円	0 千円	0 千円	
		その他	0 千円	0 千円	0 千円	
		一般財源	2,178 千円	1,830 千円	1,767 千円	
一般財源		19,677 千円	20,431 千円	19,050 千円		
活動指標	指標名		単位	平成30年度	令和元年度	令和2年度
	入館者数		計画	10,000	10,000	10,000
			実績	14,326	13,703	10,228
			計画			
実績						
令和2年度 実績				特記事項		
<ul style="list-style-type: none"> <li>・市立小諸高原美術館・白鳥映雪館協議会を開催し、事業計画や美術館の充実に向けた取組等について協議した。</li> <li>・多くの市民に来館してもらえるよう、広報こもろ、ホームページ等により周知を行った。</li> </ul>						
目標の実現に向けた今後の取り組み <ul style="list-style-type: none"> <li>・広報こもろ、ホームページ、SNSなどを活用して美術館の魅力のPRを実施する。</li> </ul>				今後の方針	維持	

政策 1 心豊かで自立できる人が育つまち  
 施策 1-3 生涯にわたる市民の主体的な「学び」を促進し、「生涯学習社会」の実現を目指します

事務事業名		新規・継続		施策内順位		
高原美術館・白鳥映雪館企画展開催事業		継続		13		
会計・款・項目		所管課		市長公約事項		
一般会計・10教育費・6社会教育費・5美術館・博物館費		文化財・生涯学習課		1:無		
事業概要	高原美術館・白鳥映雪館の企画展の開催 (小諸・地域に関わりのある作品を中心に展示し、その鑑賞により来館者に有意義な時間を過ごしてもらう。)					
投入指標	年度別事業費		平成30年度	令和元年度	令和2年度	
	特定財源	国・県支出金	4,317 千円	3,666 千円	1,671 千円	
		地方債	0 千円	0 千円	0 千円	
		その他	0 千円	0 千円	0 千円	
		一般財源	0 千円	200 千円	6 千円	
一般財源		4,317 千円	3,466 千円	1,665 千円		
活動指標	指標名		単位	平成30年度	令和元年度	令和2年度
	企画展等開催回数		計画	10	10	10
			実績	13	12	9
			計画			
実績						
令和2年度 実績				特記事項		
<ul style="list-style-type: none"> <li>・新型コロナウイルス感染症の影響により、3回を中止としたが、感染予防対策をとりながら9回の企画展を開催した。</li> <li>・4月から11月のうち、新型コロナウイルス感染症の影響による休館期間を除き、毎月2回まなびのまち造形講座(8講座)を開催した。</li> </ul>						
目標の実現に向けた今後の取り組み <ul style="list-style-type: none"> <li>・魅力ある企画展を開催し、市内外に向けて情報発信を強化する。</li> <li>・立地条件を活かし、コンサートなどの美術以外の魅力ある事業を企画する。</li> </ul>				今後の方針	維持	

政策 1 心豊かで自立できる人が育つまち  
 施策 1-3 生涯にわたる市民の主体的な「学び」を促進し、「生涯学習社会」の実現を目指します

事務事業名		新規・継続		施策内順位			
藤村記念館運営事業		継続		14			
会計・款・項・目		所管課		市長公約事項			
一般会計・10教育費・6社会教育費・6記念館費		文化財・生涯学習課		1:無			
事業概要	藤村記念館の運営・維持管理 (島崎藤村の遺墨、遺品及び関係資料を収集し、保管し、これを教育的配慮の下に展示して、市民の利用に供し、その教養と調査研究等に資する。)						
投入指標	平成30年度		令和元年度		令和2年度		
	年度別事業費		10,721 千円	9,263 千円	8,945 千円		
	特定財源	国・県支出金	0 千円	0 千円	0 千円		
		地方債	0 千円	0 千円	0 千円		
		その他	409 千円	354 千円	868 千円		
一般財源		10,312 千円	8,909 千円	8,077 千円			
活動指標	指標名		単位	平成30年度	令和元年度	令和2年度	
	入館者数		人	計画	43,000	43,000	34,000
				実績	34,624	32,695	14,994
	藤村忌参加者		人	計画	200	200	200
実績				200	200	20	
令和2年度 実績				特記事項			
<ul style="list-style-type: none"> <li>新型コロナウイルス感染症の影響により、藤村文学講座は全て令和3年度に延期したが、感染防止対策をとりながら企画展を開催した。藤村忌は、関係者のみの参加により実施した。</li> </ul>							
<p align="center">目標の実現に向けた今後の取り組み</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・広報こもろ、ホームページ、SNSなどを活用し、幅広い世代に向け記念館のPRを行う。</li> </ul>							
				今後の方針	維持		

政策 1 心豊かで自立できる人が育つまち  
 施策 1-3 生涯にわたる市民の主体的な「学び」を促進し、「生涯学習社会」の実現を目指します

事務事業名		新規・継続		施策内順位			
小諸義塾記念館運営事業		継続		16			
会計・款・項・目		所管課		市長公約事項			
一般会計・10教育費・6社会教育費・6記念館費		文化財・生涯学習課		1:無			
事業概要	小諸義塾記念館の運営・維持管理 (小諸義塾に関する資料を収集、保管、展示し、市民の学習、学術、文化の発展に資する。)						
投入指標	平成30年度		令和元年度		令和2年度		
	年度別事業費		2,901 千円	4,225 千円	2,404 千円		
	特定財源	国・県支出金	0 千円	0 千円	0 千円		
		地方債	0 千円	0 千円	0 千円		
		その他	30 千円	22 千円	9 千円		
一般財源		2,871 千円	4,203 千円	2,395 千円			
活動指標	指標名		単位	平成30年度	令和元年度	令和2年度	
	入館者数		人	計画	12,000	12,000	12,000
				実績	11,023	10,809	5,909
				計画			
実績							
令和2年度 実績				特記事項			
<ul style="list-style-type: none"> <li>・藤村記念館で寄贈を受けた書籍の展示を行った。</li> </ul>							
<p align="center">目標の実現に向けた今後の取り組み</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・入館者を増やすため、市立小諸図書館と連携した企画やPRを行うとともに、ホームページやSNSを活用した周知を行う。</li> <li>・館の効率的な運営のための検討を行う。</li> </ul>							
				今後の方針	維持		

政策 1 心豊かで自立できる人が育つまち  
 施策 1-3 生涯にわたる市民の主体的な「学び」を促進し、「生涯学習社会」の実現を目指します

事務事業名		新規・継続	施策内順位			
高濱虚子記念館運営事業		継続	15			
会計・款・項・目		所管課	市長公約事項			
一般会計・10教育費・6社会教育費・6記念館費		文化財・生涯学習課	1:無			
事業概要	高濱虚子記念館の運営・維持管理 (高濱虚子に関する資料を収集し、保管し、及び展示して市民の知識及び教養の向上を図り、もって市民文化の振興に寄与する。)					
投入指標			平成30年度	令和元年度	令和2年度	
	年度別事業費		9,632 千円	9,433 千円	7,570 千円	
	特定財源	国・県支出金	0 千円	0 千円	0 千円	
		地方債	0 千円	0 千円	0 千円	
		その他	324 千円	297 千円	282 千円	
一般財源		9,308 千円	9,136 千円	7,288 千円		
活動指標	指標名		単位	平成30年度	令和元年度	令和2年度
	入館者数		計画	2,400	2,400	2,400
			実績	2,390	1,943	403
	虚子・こもろ全国俳句大会応募者		計画	6,000	6,000	6,000
			実績	6,072	5,007	4,180
令和2年度 実績				特記事項		
<ul style="list-style-type: none"> <li>新型コロナウイルス感染症の影響により、こもろ・日盛俳句祭を中止としたが、感染防止対策をとりながら俳句講座、企画展を開催した。</li> <li>令和2年度から冬季(12~3月)を閉館とし、虚子・こもろ全国俳句大会の事務を記念館の職員が市役所において行った。</li> </ul>						
目標の実現に向けた今後の取り組み					今後の方針	維持
<ul style="list-style-type: none"> <li>入館者増につながる展示を企画し、広報こもろ、ホームページ、SNS等で周知を行う。</li> </ul>						

事務事業名			新規・継続		
社会教育総務費給与費			継続		
会計・款・項・目			所管課		
一般会計・10教育費・6社会教育費・1社会教育総務費			文化財・生涯学習課		
投入 指標			平成30年度	令和元年度	令和2年度
	年度別事業費		100,326 千円	87,046 千円	80,704 千円
	特定 財源	国・県支出金	0 千円	0 千円	0 千円
		地方債	0 千円	0 千円	0 千円
		その他	0 千円	0 千円	0 千円
一般財源		100,326 千円	87,046 千円	80,704 千円	



政策 1	心豊かで自立できる人が育つまち
施策 1-4	かけがえのない文化財を保存・継承し、有効に活用します

所 管	文化財・生涯学習課
関 連	—
関 連	—
関 連	—
関 連	—
関 連	—

◆現状と課題

「KOMORO HISTORY」「小諸ふるさと遺産」「古文書学習講座」などにより文化財に関する学びの機会を醸成している。また、指定文化財保護補助金により保存・継承を図っている。  
 文化財の所有者・継承者の高齢化や後継者不足などにより、保存・継承・活用等が難しくなっている。  
 古文書の整理・調査を古文書調査室で行っているが、収集・保存・展示・調査研究等を行う体制が不足しており、郷土の貴重な歴史的資料や古文書等の散逸が危惧される。  
 課題であった旧小諸本陣(問屋場)の解体・復原工事に着手するが、多額の費用を投じるため、今後の活用方法を含め十分な検討を要する。

◆方針

目的
<p>小諸市文化財保存活用基本方針に基づき、文化財を単に保存・継承するだけでなく、観光面等と連携を取り積極的な有効活用を図る。          個人や団体が所有・継承している文化財は、適切に保存・継承・活用等ができるよう、助言、情報提供、標識設置、管理・修理費の補助等の支援を行う。          郷土の貴重な歴史的資料や古文書等が散逸しないよう、収集・保存・展示・研究等を一体的に行う体制の充実を図る。          ふるさと「小諸」を愛し、大切に思う心を育み、歴史的、文化的なお宝や、自然のすばらしさを活かした「ふるさと学習」を進める。</p>

◆令和2年度重点方針と目標

- ・小諸市文化財保存活用基本方針に基づき、文化財を適切に保存・継承するとともに、観光等での活用の促進を図る。
- ・小諸ふるさと遺産認定事業により、身近な文化財等への愛着と誇りを醸成する。
- ・旧小諸本陣の解体復原工事に着手する。
- ・市の名勝に指定した「小諸城址懐古園」の県の「名勝」指定をめざして、県教委と協議を進める。

◆目標

・目標の計画と達成状況

計 画
<p>①文化財が適切に保存・継承されるとともに、観光面等で有効に活用されている状態。          ②地域や住民が自ら、文化財を保存・継承するための活動が行われている状態。          ③歴史的資料や古文書等の収集・保存・展示・研究等を一体的に行い、活用されている状態。</p>

◆実績

令和2年度実績	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・旧小諸本陣(問屋場)の解体復原事業に向けた基本設計を実施した。</li> <li>・3年目を迎えた小諸ふるさと遺産認定事業は、新たに41件を認定し、3年間で合計102件を認定した。昨年度までに認定した61件のふるさと遺産とあわせて、1冊の本として「小諸ふるさと遺産集」を刊行した。</li> <li>・指定文化財の保存継承に必要な経費に対して、補助金を交付した。</li> </ul>	

◆成果指標(アウトカム)

・目標の計画と達成状況

指標名	伝統行事や文化財の保存・活用の状況に対する市民満足度(市民意識調査)						
設定理由	伝統行事や文化財の保存や活用の状況に満足と感じている人の割合が高くなれば、文化財の保存・継承・活用等が適切に行われていると考えられるから。						
算式						単位	%
目標値	計画策定時		令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	
	67.3	計画	69	71	73	75	
		実績	69.3				
指標名	指定文化財保護補助金、無形民俗文化財公開謝礼の申請数						
設定理由	指定文化財保護補助金、無形民俗文化財公開謝礼の活用により、文化財を保存・継承するための活動が行われていると考えられるから。						
算式						単位	件
目標値	計画策定時		令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	
	15	計画	15	15	15	15	
		実績	13				
指標名							
設定理由							
算式						単位	
目標値	計画策定時		令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	
		計画					
		実績					

◆目標の実現に向けた今後の取り組み

今後の方針

維持

<ul style="list-style-type: none"> <li>・小諸市文化財保存活用基本方針に基づき、文化財の適切な保存継承を図るとともに、引き続き、保存継承に必要な経費に対して補助金を交付する。</li> <li>・関係者の協力を得て、旧小諸本陣(問屋場)の解体復原工事に本格着手し、復原後の観光面での有効活用に向けた検討を行う。</li> <li>・認定した「小諸ふるさと遺産」を、多くの市民に知ってもらうために、CTKでの放映等によるPRを行う。</li> <li>・古文書調査室で目録整理の済んだ貴重な古文書について、目録の公開を行う。</li> </ul>	
---	--

◆個別計画

教育振興基本計画
----------

◆特記事項

--

政策 1 心豊かで自立できる人が育つまち  
 施策 1-4 かけがえのない文化財を保存・継承し、有効に活用します

事務事業名		新規・継続	施策内順位			
文化財保護活用事業		継続	2			
会計・款・項・目		所管課	市長公約事項			
一般会計・10教育費・6社会教育費・1社会教育総務費		文化財・生涯学習課	1:無			
事業概要	市内各所にある文化財は、市民の貴重な財産であり、それらを適切に保存・継承していくことは、今を生きる私たちの責務である。しかし、文化財を単に保存・継承するだけでなく、観光面等に積極的に有効活用してこそ、より存在意義が高まる。文化財が適切に保存・継承されるとともに、有効活用がなされるよう、助言、情報提供、標識設置、管理・修理費の補助等の支援を行う。					
投入指標	年度別事業費		平成30年度	令和元年度	令和2年度	
	特定財源	国・県支出金	12,095 千円	8,689 千円	5,718 千円	
		地方債	2,720 千円	2,176 千円	1,398 千円	
		その他	0 千円	0 千円	0 千円	
		一般財源	2,953 千円	861 千円	0 千円	
一般財源		6,422 千円	5,652 千円	4,320 千円		
活動指標	指標名		単位	平成30年度	令和元年度	令和2年度
	学芸員の配置人員	人	計画	2	2	2
			実績	2	3	2
	文化財保護審議会の開催回数	回	計画	2	2	2
実績			3	1	0	
令和2年度 実績					特記事項	
<ul style="list-style-type: none"> <li>小諸ふるさと遺産を募集し、41件に認定証を交付するとともに、過去2年間に認定した61件と合わせた102件をまとめた小諸ふるさと遺産集を発行した。</li> <li>指定文化財の管理等のため文化財保護事業補助金を交付した。</li> </ul>						
目標の実現に向けた今後の取り組み					今後の方針	維持
<ul style="list-style-type: none"> <li>懐古園の県名勝指定の早期実現のため、申請に向けた準備を行う。</li> <li>認定したふるさと遺産の周知や観光面での活用について関係機関と協議を行う。</li> </ul>						

政策 1 心豊かで自立できる人が育つまち  
 施策 1-4 かけがえのない文化財を保存・継承し、有効に活用します

事務事業名		新規・継続	施策内順位			
旧小諸本陣建造物保存修理事業		継続	1			
会計・款・項・目		所管課	市長公約事項			
一般会計・10教育費・6社会教育費・1社会教育総務費		文化財・生涯学習課	1:無			
事業概要	北国街道沿いにある「旧小諸本陣」は、城下町であり、宿場町でもあった往時の小諸を偲ばせる貴重な建築物であり、国の重要文化財にも指定されているが、著しく老朽化が進行している。このため、これを往時の姿に復元し、永く後世に伝えるとともに、一般に公開し、観光資源として有効活用するため、解体復元工事を実施する。					
投入指標	年度別事業費		平成30年度	令和元年度	令和2年度	
	特定財源	国・県支出金	10,355 千円	2,695 千円	14,877 千円	
		地方債	0 千円	0 千円	7,160 千円	
		その他	0 千円	0 千円	0 千円	
		一般財源	0 千円	0 千円	0 千円	
一般財源		10,355 千円	2,695 千円	7,717 千円		
活動指標	指標名		単位	平成30年度	令和元年度	令和2年度
	解体復元工事の実施		計画	調査等	設計等	解体工事着手
			実績	調査等	設計等	設計等
			計画			
実績						
令和2年度 実績					特記事項	
<ul style="list-style-type: none"> <li>専門機関に委託して実施設計書を作成した。</li> </ul>						
目標の実現に向けた今後の取り組み					今後の方針	維持
<ul style="list-style-type: none"> <li>解体復元工事に着手し、復元後の活用等を検討するため保存修理専門委員会(仮称)を組織する。</li> </ul>						



政策 1	心豊かで自立できる人が育つまち
施策 1-5	スポーツを通じて、交流や活動が生まれるまちを目指します

所 管	スポーツ課
関 連	健康づくり課
関 連	—
関 連	—
関 連	—
関 連	—

◆現状と課題

小諸市では、地域指導者によるスポーツ少年団活動や各種団体の教室、大会の開催などによる様々な年代層へのスポーツ振興が行われている。また、ウォーキングなど年齢や体力に応じた健康保持につながる生涯スポーツも推進している。しかし、スポーツニーズが多様化するなか、参加者や競技団体の減少、団体役員の高齢化などもあり、ニーズに応じた教室の検討や競技団体と連携した人材(担い手)育成が課題となっている。

◆方針

目的

スポーツ推進計画に基づいて、関係団体と利用者ニーズに応じた教室の開催や指導者育成によるスポーツ振興に取り組むとともに、今後予定されている2028年の国民スポーツ大会への準備を進める。  
それぞれの体力や年齢・目的などに応じて、生涯を通じてスポーツに親しみ、活動する取り組みを関係課と連携して進める。スポーツに親しむ環境を整備するため、体育施設の充実や個別施設計画による統廃合を含めた適切な整備を図り、安全安心な利用が行える施設管理に努める。  
国内トップレベルの選手(アスリート)と交流する機会の充実を図り、競技への興味やスポーツをするきっかけづくりなど市民がスポーツに親しみ、まちの活性化、健康づくりにつながる取り組みを進める。

◆今後の取り組みのうち令和2年度重点方針と目標

- ・各種団体と連携し、年齢・体力・ニーズなどに沿ったイベント・教室の開催を企画する。
- ・2028年の国民スポーツ大会に向けての準備を進めるとともに、個別施設計画による体育施設の適切な維持管理に努める。
- ・市民交流会やアスリートによる教室を開催し、アスリートと市民が交流する機会の充実を図る。

◆目標

- ・目標の計画と達成状況

計 画

- ①体育施設の利用などを通じて、地域でのスポーツに親しむ人が増え交流や活動が増える状態。
- ②市民がそれぞれの体力や年齢・技術・興味・目的などに応じてスポーツに親しむことができる状態。

◆実績

令和2年度実績

- ・小諸市スポーツ施策の基となる第2期小諸市スポーツ推進計画(R3年度～R7年度)を策定した。
- ・新たに、小諸市高地トレーニング推進協議会と連携し、ニュースポーツ(フットダーツ)を取り入れた地元企業のプロサッカー選手との交流事業を保育園で実施した。
- ・2028年の国民スポーツ大会レスリング会場となる準備として計画的に備品購入を進めるため、スポーツ振興くじ助成金(toto)を活用してレスリングマット2セットを購入した。

◆成果指標(アウトカム)

・目標の計画と達成状況

指標名	スポーツ・レクリエーションの環境づくりに対する市民満足度(市民意識調査)						
設定理由	満足度が上がることにより、活動などの行いやすい環境の提供ができていると考えられるから。						
算式	満足、やや満足、普通の合計数値					単位	%
目標値	計画策定時		令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	
	54.5	計画	56	57	58	60	
		実績	55.7				
指標名	スポーツを身近に感じている人の割合(市民意識調査)						
設定理由	スポーツを身近に感じている人の割合が高まれば、スポーツを通じた交流や活動などが増えていると考えられるから。						
算式	そう思う・ややそう思うの合計数値					単位	%
目標値	計画策定時		令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	
	—	計画	40	41	43	45	
		実績	28.2				
指標名							
設定理由							
算式						単位	
目標値	計画策定時		令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	
		計画					
		実績					

◆目標の実現に向けた今後の取り組み

今後の方針

維持

コロナ禍の状況で計画をしていた大会や教室などの開催ができずにいたが、新たな活動指針(開催時の感染予防対策や運営上の注意など)が上部団体より各団体に通知されているので、指針などにに基づき各種団体と連携し大会や教室の開催を企画する。

- ・アスリートと市民の交流を図り、交流などを通じたまちの活性化や健康づくりにつながる取り組みを進める。
- ・高峰高原の優位性を生かした取り組みを推進する根拠として、高地トレーニングのエビデンス(科学的根拠)の作成を東海大学スポーツ医科学研究所との包括連携協定により進める。
- ・個別施設計画による体育施設の適切な維持管理に努める。
- ・各種団体及びスポーツ推進委員を軸とした生涯スポーツの推進を図る。
- ・2028年開催の国民スポーツ大会に向け関係団体と連携を密にし、開催までのスケジュール計画策定を進める。

◆個別計画

教育振興基本計画／スポーツ推進計画

◆特記事項

成果指標の「スポーツを身近に感じている人の割合」を新規項目として設定し、計画目標値は前年度の「文化・芸術・スポーツを身近に感じている人の割合」に準じ設定したが、新規設問ではスポーツのみの回答としたため、数値が減少し乖離が生じた。

政策 1 心豊かで自立できる人が育つまち  
 施策 1-5 スポーツを通じて、交流や活動が生まれるまちを目指します

事務事業名		新規・継続	施策内順位			
保健体育総務費運営費		継続	28			
会計・款・項目		所管課	市長公約事項			
一般会計・10教育費・7保健体育費・1保健体育総務費		スポーツ課	1:無			
事業概要	・市民のスポーツの推進・振興を図るため、スポーツ推進審議会の開催、体育協会はじめ各スポーツ団体への助成等を行う。					
投入指標			平成30年度	令和元年度	令和2年度	
	年度別事業費		5,193 千円	5,169 千円	5,262 千円	
	特定財源	国・県支出金	0 千円	0 千円	0 千円	
		地方債	0 千円	0 千円	0 千円	
		その他	0 千円	0 千円	0 千円	
一般財源		5,193 千円	5,169 千円	5,262 千円		
活動指標	指標名		単位	平成30年度	令和元年度	令和2年度
	スポーツ推進審議会の開催数	回	計画	1	2	4
			実績	1	2	4
			計画			
実績						
令和2年度 実績				特記事項		
計画期間を令和3～7年度とする第2期小諸市スポーツ推進計画を策定した。併せて同計画内で体育施設の個別施設計画も策定した。各種大会、スポーツ教室は、新型コロナウイルス感染拡大の影響で中止となった。						
目標の実現に向けた今後の取り組み					今後の方針	維持
・スポーツ推進計画に基づき、小諸市体育協会やスポーツ少年団、小諸市スポーツ推進委員会、総合型スポーツクラブ等と情報交換を行ないながらスポーツ大会、教室等を開催し市民の健康維持・増進、スポーツの振興を図る。 ・レスリング会場となる2028年の国民スポーツ大会に向け、関係団体と連携して環境整備を進める。						

政策 1 心豊かで自立できる人が育つまち  
 施策 1-5 スポーツを通じて、交流や活動が生まれるまちを目指します

事務事業名		新規・継続	施策内順位			
スポーツ推進委員会運営事業		継続	24			
会計・款・項目		所管課	市長公約事項			
一般会計・10教育費・7保健体育費・1保健体育総務費		スポーツ課	1:無			
事業概要	・市のスポーツ推進事業の実践を担うスポーツ推進委員の活動を支援する。					
投入指標			平成30年度	令和元年度	令和2年度	
	年度別事業費		862 千円	734 千円	585 千円	
	特定財源	国・県支出金	0 千円	0 千円	0 千円	
		地方債	0 千円	0 千円	0 千円	
		その他	0 千円	0 千円	0 千円	
一般財源		862 千円	734 千円	585 千円		
活動指標	指標名		単位	平成30年度	令和元年度	令和2年度
	定例会の開催数	回	計画	12	12	12
			実績	12	11	3
			計画			
実績						
令和2年度 実績				特記事項		
・健康づくり課とともにセカンドフライデーウォーキングを3回実施した。 ・毎月開催予定の定例会は、新型コロナウイルス感染拡大の影響で3回しか開催できず、ニュースポーツの講習も行うことができなかったが、メール等による情報共有を図った。						
目標の実現に向けた今後の取り組み					今後の方針	維持
・パラリンピック正式種目でもあるポッチャ等ニュースポーツの講習会を地域でも開催できるよう、スポーツ推進委員の講習を定例会で行う。 ・各地域でスポーツ活動に熱心に取り組む方など、スポーツ推進委員となりうる人材の把握、養成に努める。						

政策 1 心豊かで自立できる人が育つまち  
 施策 1-5 スポーツを通じて、交流や活動が生まれるまちを目指します

事務事業名		新規・継続	施策内順位			
スポーツ大会等運営事業		継続	21			
会計・款・項目		所管課	市長公約事項			
一般会計・10教育費・7保健体育費・1保健体育総務費		スポーツ課	1:無			
事業概要	・幅広い年齢層に対応したスポーツ大会やスポーツ教室等を開催する。					
投入指標	年度別事業費		平成30年度	令和元年度	令和2年度	
	特定財源	国・県支出金	4,149 千円	3,656 千円	925 千円	
		地方債	0 千円	0 千円	0 千円	
		その他	0 千円	0 千円	0 千円	
		一般財源	4,149 千円	3,656 千円	925 千円	
活動指標	指標名		単位	平成30年度	令和元年度	令和2年度
	市主催スポーツ大会数	大会	計画	10	10	8
			実績	9	10	0
	競技団体等主催市内スポーツ大会数	大会	計画	80	80	82
			実績	80	80	29
令和2年度 実績			特記事項			
<ul style="list-style-type: none"> <li>・当初は開催を計画していたが、新型コロナウイルス感染拡大のためスポーツ大会、スポーツ教室は中止となった。</li> <li>・大会等の中止については、広報こもろやホームページにより適宜周知を行った。</li> </ul>			目標・活動指標追加:平成30年度分から市の主催大会数だけではなく市内で開催される大会数を追加指標をわかりやすくするため「市主催」を追加			
目標の実現に向けた今後の取り組み <ul style="list-style-type: none"> <li>・スポーツ大会、スポーツ教室について、広報こもろ、ホームページ、SNS等の活用により効果的な周知を図る。</li> <li>・体協各々が主催する大会は、円滑に運営できるよう情報発信等の支援を適宜行う。</li> </ul>					今後の方針	維持

政策 1 心豊かで自立できる人が育つまち  
 施策 1-5 スポーツを通じて、交流や活動が生まれるまちを目指します

事務事業名		新規・継続	施策内順位			
学校開放事業		継続	26			
会計・款・項目		所管課	市長公約事項			
一般会計・10教育費・7保健体育費・1保健体育総務費		スポーツ課	1:無			
事業概要	・市内の小中学校の体育施設(校庭・体育館)を地域のスポーツクラブ・スポーツ団体等に開放にする。					
投入指標	年度別事業費		平成30年度	令和元年度	令和2年度	
	特定財源	国・県支出金	373 千円	235 千円	259 千円	
		地方債	0 千円	0 千円	0 千円	
		その他	0 千円	0 千円	0 千円	
		一般財源	373 千円	235 千円	120 千円	
活動指標	指標名		単位	平成30年度	令和元年度	令和2年度
	登録団体数	団体	計画	45	45	46
			実績	44	48	44
	利用件数	件	計画	1,700	1,700	1,950
			実績	1,914	1,899	711
令和2年度 実績			特記事項			
<ul style="list-style-type: none"> <li>・新型コロナウイルス感染拡大の影響により約200日の利用中止期間があったため、利用件数は前年度から1,188件減少した。登録団体は4団体減少した。</li> <li>・施設使用後の消毒、清掃等、利用団体による新型コロナ感染防止対策を実施した。</li> </ul>						
目標の実現に向けた今後の取り組み <ul style="list-style-type: none"> <li>・新型コロナ感染防止対策を徹底し、利用団体が使用後の消毒、清掃等を実施するよう指示し施設利用を進める。</li> <li>・市が保有する体育施設との連携を図り、利用団体が学校体育施設を円滑に利用できるよう運用する。</li> </ul>					今後の方針	維持

政策 1 心豊かで自立できる人が育つまち  
 施策 1-5 スポーツを通じて、交流や活動が生まれるまちを目指します

事務事業名		新規・継続	施策内順位				
高地トレーニング等推進事業		継続	9				
会計・款・項目		所管課	市長公約事項				
一般会計・10教育費・7保健体育費・1保健体育総務費		スポーツ課	2:有				
事業概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>・高地トレーニング構想の推進として、オリンピック事前合宿等の誘致及び、当該合宿チーム等を支援する。</li> <li>・長野国体での種目誘致及び、当該種目の競技力向上のための支援をする。</li> <li>・アスリートと市内児童生徒との交流を図る。</li> <li>・上記に必要な市施設の環境整備等を実施する。</li> </ul>						
投入指標	年度別事業費		平成30年度	令和元年度	令和2年度		
	特定財源	国・県支出金	744 千円	1,051 千円	366 千円		
		地方債	0 千円	0 千円	0 千円		
		その他	0 千円	0 千円	0 千円		
		一般財源	744 千円	1,051 千円	366 千円		
活動指標	指標名		単位	平成30年度	令和元年度	令和2年度	
	高地トレーニング関係の延べ宿泊数		泊	計画	1,100	2,100	2,100
				実績	3,569	2,351	1,417
				計画			
実績							
令和2年度 実績			特記事項				
<ul style="list-style-type: none"> <li>・新型コロナウイルス感染拡大により、合宿受入実績が減少した。</li> <li>・交流事業「アストレこもろ」を新たに計画をしたが、新型コロナウイルス感染拡大の影響により実施できなかった。</li> <li>・高トレ推進協議会と連携し、地元企業のプロサッカー選手が園児とニュースポーツ(フットダーツ)と一緒に交流事業を新たに計画し実施できた。</li> </ul>							
目標の実現に向けた今後の取り組み					今後の方針	維持	
小諸エリア高地トレーニング推進協議会と連携し、トップアスリートの合宿受入れや子どもたちや市民との交流の機会の充実を図る。 市民の健康づくりにも活用するため、東海大学医科学研究所との包括連携協定に基づき、高地トレーニングのエビデンス(科学的根拠)の作成を進める。							

政策 1 心豊かで自立できる人が育つまち  
 施策 1-5 スポーツを通じて、交流や活動が生まれるまちを目指します

事務事業名		新規・継続	施策内順位				
体育施設運営費		継続	3				
会計・款・項目		所管課	市長公約事項				
一般会計・10教育費・7保健体育費・2体育施設費		スポーツ課	1:無				
事業概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>・教育委員会が管理する各体育施設及び付帯施設の維持管理。</li> <li>(南城公園マレットゴルフコース・南城公園内トイレ・乙女湖公園テニスコート・乙女湖公園ゲートボール場・乙女湖公園内トイレ・乙女湖公園内管理棟・市営野球場・平成の森マレットゴルフコース・御影マレットゴルフコース)</li> </ul>						
投入指標	年度別事業費		平成30年度	令和元年度	令和2年度		
	特定財源	国・県支出金	25,131 千円	6,507 千円	6,060 千円		
		地方債	0 千円	0 千円	0 千円		
		その他	0 千円	0 千円	0 千円		
		一般財源	4,149 千円	634 千円	670 千円		
活動指標	指標名		単位	平成30年度	令和元年度	令和2年度	
	体育施設の事故件数		件	計画	0	0	0
				実績	0	0	0
				計画			
実績							
令和2年度 実績			特記事項				
<ul style="list-style-type: none"> <li>・新型コロナウイルス感染拡大の影響で施設利用できない期間もあったが、感染防止対策を徹底して施設利用を進めた。</li> <li>・予定していた修繕、突発的な修繕それぞれに対応し、安全、安心な施設の維持管理に努めた。</li> <li>・サッカーゴール、ネット、ウェイトのセットを1組購入した。</li> </ul>							
目標の実現に向けた今後の取り組み					今後の方針	維持	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・第2期小諸市スポーツ推進計画、個別施設計画に基づき、計画的な維持管理を行う。</li> <li>・突発的な修繕にも対応しつつ、施設ごとに優先順位をつけ計画的な整備を行う。</li> <li>・効率的な施設利用に資するため、施設の予約管理システム導入に向けた検討を行う。</li> </ul>							

政策 1 心豊かで自立できる人が育つまち  
 施策 1-5 スポーツを通じて、交流や活動が生まれるまちを目指します

事務事業名		新規・継続	施策内順位				
総合体育館等運営事業		継続	6				
会計・款・項・目		所管課	市長公約事項				
一般会計・10教育費・7保健体育費・2体育施設費		スポーツ課	1:無				
事業概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>指定管理による体育施設の維持管理。</li> <li>(総合体育館、武道館、アーチェリー場、屋内ゲートボール場すぱーく小諸、和田体育館、懐古射院)</li> </ul>						
投入指標	年度別事業費		平成30年度	令和元年度	令和2年度		
	特定財源	国・県支出金	12,223 千円	14,968 千円	18,790 千円		
		地方債	0 千円	0 千円	0 千円		
		その他	0 千円	0 千円	4,342 千円		
		一般財源	12,223 千円	14,968 千円	14,448 千円		
活動指標	指標名		単位	平成30年度	令和元年度	令和2年度	
	総合体育館利用者数		人	計画	48,000	48,000	48,000
				実績	52,444	54,351	22,428
				計画			
実績							
令和2年度 実績			特記事項				
<ul style="list-style-type: none"> <li>新型コロナウイルス感染拡大の影響により80日の施設閉鎖期間があったほか、合宿も軒並みキャンセルとなったため、利用者数は前年度の41.2%にとどまった。また、目標に対しても46.7%と大きく下回った。</li> <li>スポーツくじ(toto)助成金を活用し、2028年の国民スポーツ大会開催に向けた準備として、レスリングマットを2セット購入した。</li> <li>新型コロナの影響で休業等を余儀なくされた指定管理者に対し支援金を支給した。</li> </ul>							
目標の実現に向けた今後の取り組み			今後の方針	維持			
<ul style="list-style-type: none"> <li>第2期小諸市スポーツ推進計画、個別施設計画に基づき、計画的な維持管理を行う。</li> <li>指定管理者と情報を共有しながら適正な管理運営を行う。</li> <li>利用者増に向け、自主事業のPR、合宿の受入れ拡大等に努める。</li> <li>2028年の国民スポーツ大会開催に向け、指定管理者、関係団体と協議を行い準備を進める。</li> <li>利用者アンケートを実施し、ニーズに合致した事業展開を検討する。</li> </ul>							

政策 1 心豊かで自立できる人が育つまち  
 施策 1-5 スポーツを通じて、交流や活動が生まれるまちを目指します

事務事業名		新規・継続	施策内順位				
南城公園プール運営事業		継続	20				
会計・款・項・目		所管課	市長公約事項				
一般会計・10教育費・7保健体育費・2体育施設費		スポーツ課	1:無				
事業概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>スポーツ施設、レジャー施設として南城公園プールを運営・維持管理する。</li> </ul>						
投入指標	年度別事業費		平成30年度	令和元年度	令和2年度		
	特定財源	国・県支出金	19,550 千円	18,428 千円	1,870 千円		
		地方債	0 千円	0 千円	0 千円		
		その他	2,411 千円	2,064 千円	0 千円		
		一般財源	17,139 千円	16,364 千円	1,870 千円		
活動指標	指標名		単位	平成30年度	令和元年度	令和2年度	
	南城公園プール入場者		人	計画	15,000	15,000	15,000
				実績	12,171	12,011	0
				計画			
実績							
令和2年度 実績			特記事項				
新型コロナウイルス感染拡大のため営業を中止した。							
目標の実現に向けた今後の取り組み			今後の方針	維持			
<ul style="list-style-type: none"> <li>令和3年度も新型コロナウイルス感染拡大防止のため営業を休止した。</li> <li>施設の老朽化、市民のニーズ、費用対効果等について、小諸市スポーツ推進審議会での議論、学校や保育園等からの意見聴取を行いながら今後の方向性を検討していきたい。</li> </ul>							

政策 1 心豊かで自立できる人が育つまち  
 施策 1-5 スポーツを通じて、交流や活動が生まれるまちを目指します

事務事業名		新規・継続	施策内順位				
大栄小諸球場運営事業		継続	4				
会計・款・項目		所管課	市長公約事項				
一般会計・10教育費・7保健体育費・2体育施設費		スポーツ課	1:無				
事業概要	大栄小諸球場の施設及び付帯施設の維持管理						
投入指標			平成30年度	令和元年度	令和2年度		
	年度別事業費		0千円	26,227千円	3,385千円		
	特定財源	国・県支出金	0千円	0千円	0千円		
		地方債	0千円	0千円	0千円		
		その他	0千円	1,975千円	1,317千円		
一般財源		0千円	24,252千円	2,068千円			
活動指標	指標名		単位	平成30年度	令和元年度	令和2年度	
	大栄小諸球場利用者数		人	計画	—	19,000	19,500
				実績	—	17,880	9,776
	大栄小諸球場稼働率		%	計画	—	68	90
実績				—	92	57	
令和2年度 実績			特記事項				
<ul style="list-style-type: none"> <li>ラバーフェンスへの有料広告掲出料等を財源として、ダグアウト等の塗装やスピーカーの修繕等の施設整備を行った。</li> <li>新型コロナウイルス感染拡大による71日間の施設閉鎖が影響したため、利用者数は前年度と比較し約55%であった。</li> </ul>			平成31年度より体育施設運営費から事業出し				
目標の実現に向けた今後の取り組み <ul style="list-style-type: none"> <li>第2期小諸市スポーツ推進計画、個別施設計画に基づき、計画的な維持管理を行う。</li> <li>ラバーフェンスへの有料広告掲出は、ファウルグラウンドやダグアウト上部も検討し、さらなる自主財源の確保に努める。</li> </ul>					今後の方針	維持	

政策 1 心豊かで自立できる人が育つまち  
 施策 1-5 スポーツを通じて、交流や活動が生まれるまちを目指します

事務事業名		新規・継続	施策内順位				
天池総合運動場運営事業		継続	5				
会計・款・項目		所管課	市長公約事項				
一般会計・10教育費・7保健体育費・2体育施設費		スポーツ課	1:無				
事業概要	小諸市総合運動場の施設及び付帯施設の維持管理						
投入指標			平成30年度	令和元年度	令和2年度		
	年度別事業費		0千円	1,802千円	2,920千円		
	特定財源	国・県支出金	0千円	0千円	0千円		
		地方債	0千円	0千円	0千円		
		その他	0千円	122千円	71千円		
一般財源		0千円	1,680千円	2,849千円			
活動指標	指標名		単位	平成30年度	令和元年度	令和2年度	
	高地トレーニング合宿受入団体数		団体	計画	—	18	19
				実績	—	29	18
				計画			
実績							
令和2年度 実績			特記事項				
<ul style="list-style-type: none"> <li>第2期小諸市スポーツ推進計画と、同計画内で体育施設の個別施設計画を策定した。</li> <li>新型コロナウイルス感染拡大による71日間の施設閉鎖も影響し、利用者は前年度と比較して55%にとどまった。</li> <li>多目的グラウンドクラブハウスの防球柵を鉄製に交換し、ガラス保護の安全性向上を図った。</li> </ul>			平成31年度より体育施設運営費から事業出し				
目標の実現に向けた今後の取り組み <ul style="list-style-type: none"> <li>第2期小諸市スポーツ推進計画、個別施設計画に基づき、計画的な維持管理を行う。</li> <li>学生や実業団等トップアスリートの合宿誘致等、利用者増に向け小諸市エリア高地トレーニング推進協議会との連携を図る。</li> <li>管理委託先である浅間嶺スポーツクラブによる、競技者と利用者双方の視点からの適切な維持管理を行う。</li> </ul>					今後の方針	維持	



政策 1	心豊かで自立できる人が育つまち
施策 1-6	市民の人権意識を高めます

所 管	人権政策課
関 連	人権同和教育課
関 連	—
関 連	—
関 連	—
関 連	—

#### ◆現状と課題

平成30年度の「人権・同和問題、男女共同参画に関する市民意識調査」によると、約3割の人が「人権を侵害されたことがある」また、「性別によって役割を固定する考え方」について、2割以上の方が賛成と回答している。令和元年度から令和2年度に「第6次小諸市部落差別等あらゆる差別をなくす総合計画」「男女共同参画こもろプラン7」の策定に向けた、女性、障がい者団体などの聞き取り調査でも、差別、偏見、不平等などを受けた体験が語られた。  
このような状況を踏まえ、差別のない、すべての人の人権が尊重される社会の実現を図る必要がある。

#### ◆方針

##### 目的

社会には、同和問題をはじめ、女性、子ども、高齢者、障がい者、外国籍市民等に対する差別や偏見など、様々な人権問題が存在している。すべての人の人権が尊重され、差別のない小諸市を築くため、家庭、地域、学校、企業等の様々な場において、学習や啓発、交流活動を通じて市民の人権意識を高め、差別や偏見など人権が侵害されたときに、適切な相談・解決の支援を受けられるよう、体制を充実させる。また、女性活躍推進などの取り組みにより、男女共同参画及びジェンダー平等社会の実現を目指す。

#### ◆令和2年度重点方針と目標

- ・地域における人権教育の場である人権懇談会において、「部落差別解消推進法」の周知、啓発を図るとともに、全区での開催をめざして未開催区への働きかけを強化する。
- ・人権センターの教育、啓発、相談等の機能を高めるとともに、耐震診断結果を踏まえ、今後の施設のあり方を検討する。

#### ◆目標

- ・目標の計画と達成状況

##### 計 画

- ①市民が、家庭、地域、学校、企業等の様々な場において、人権に関する知識が得られ、様々な人々との交流の機会を通じ、差別や偏見等に気づくことができる人権感覚が身についた状態。
- ②市民が人権問題について、必要ときに相談ができ、解決に向けた支援が受けられる状態。
- ③男女共同参画及びジェンダー平等社会が実現できた状態。

◆実績

令和2年度実績	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域の人権教育及び啓発を目的とする各区人権懇談会や集会所事業は、新型コロナウイルス感染拡大により、開催回数は減少したが、感染予防をしながら、可能な範囲で開催した。また、希望のあった区へ、開催に代えて啓發文書を配布した。</li> <li>・企業内人権同和教育推進連絡協議会、幼保小中養高人権同和教育研究委員会においては、研修会等可能な範囲で実施し、新型コロナウイルスに関連した啓発などを行った。</li> <li>・人権センター(隣保館)事業として、自主事業、相談事業を行った。</li> <li>・男女共同参画事業として、啓発セミナーを行った。</li> <li>・多文化共生事業として、相談事業、日本語教室を行った。</li> <li>・新型コロナウイルスに関連した差別、誹謗・中傷に対する啓発、相談窓口の周知などを行った。</li> </ul>	

◆成果指標(アウトカム)

・目標の計画と達成状況

指標名	1年以内に、差別や偏見など人権を侵害されたことのある人の割合(市民意識調査)						
設定理由	人権を侵害されたことのある人の割合が低くなれば、市民の人権意識が高まったと考えられるから。						
算式						単位	%
目標値	計画策定時		令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	
	9.8	計画	0	0	0	0	
		実績	8.3				
指標名	審議会委員等への女性の参画率						
設定理由	審議会委員等への女性の参画率が高くなれば、男女共同参画及びジェンダー平等社会の実現に近づくから。						
算式						単位	%
目標値	計画策定時		令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	
	40.4	計画	45	45	45	45	
		実績	37.5				
指標名							
設定理由							
算式						単位	
目標値	計画策定時		令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	
		計画					
		実績					

◆目標の実現に向けた今後の取り組み

今後の方針	維持
-------	----

<ul style="list-style-type: none"> <li>・家庭、地域、学校、企業等の様々な場において、人権に関わる学習機会の提供や啓発に取り組む。</li> <li>・人権センターを部落差別をはじめあらゆる差別の解消に向けた取組みの拠点として、情報発信、交流・啓発活動、相談体制等機能の充実を目指す。また、耐震診断の結果を踏まえて施設の耐震化及びバリアフリー化について検討する。</li> <li>・男女共同参画こもろプラン7を推進し、男女共同参画社会、ジェンダー平等社会の実現を目指す。</li> <li>・多文化共生社会に向け、外国籍市民くらしの相談、日本語教室、日本語学習支援セミナー、交流事業等を実施する。</li> <li>・同和問題をはじめ、子ども、高齢者、障がい者、外国籍市民、LGBT(性の多様性)のほか、インターネットによる人権侵害や、新型コロナウイルスに関連した差別など多くの課題に対して、幅広い啓発を進める。</li> </ul>
---

◆個別計画

教育振興基本計画／第6次小諸市部落差別等あらゆる差別をなくす総合計画／男女共同参画こもろプラン7
--

◆特記事項

--

政策 1 心豊かで自立できる人が育つまち  
 施策 1-6 市民の人権意識を高めます

事務事業名		新規・継続	施策内順位			
隣保館運営事業		継続	2			
会計・款・項目		所管課	市長公約事項			
一般会計・3民生費・6人権政策費・2隣保館運営費		人権政策課	1:無			
事業概要	・人権啓発の拠点としての人権センターの運営					
投入指標	年度別事業費		平成30年度	令和元年度	令和2年度	
	特定財源	国・県支出金	10,700 千円	10,270 千円	8,724 千円	
		地方債	4,739 千円	4,374 千円	3,680 千円	
		その他	0 千円	0 千円	0 千円	
		一般財源	156 千円	157 千円	115 千円	
一般財源		5,805 千円	5,739 千円	4,929 千円		
活動指標	指標名		単位	平成30年度	令和元年度	令和2年度
	人権フェスティバルの開催	回	計画	1	1	1
			実績	1	1	0
	文化、教養事業の実施	回	計画	84	84	84
実績			84	125	77	
令和2年度 実績			特記事項			
<ul style="list-style-type: none"> <li>・センター自主事業(文化教養事業7事業)を開催(参加者1,366名)</li> <li>・人権センター相談20件 利用状況(貸室等):利用件数486件 利用者数5,083人</li> <li>・人権フェスティバル⇒中止</li> </ul>			新型コロナウイルスの影響により、人権センター利用等は減少し、人権フェスティバルは中止となった。			
目標の実現に向けた今後の取り組み					今後の方針	維持
<ul style="list-style-type: none"> <li>・指導員を配置することにより相談事業体制を継続する。</li> <li>・文化、教養、交流事業を実施し、実績発表の場として人権フェスティバルを開催する。</li> <li>・館内の展示資料、人権啓発に関する図書や教材の整備を行う。</li> <li>・耐震診断の結果をふまえ、施設の耐震化、バリアフリー化に向けた検討を進める。</li> </ul>						

政策 1 心豊かで自立できる人が育つまち  
 施策 1-6 市民の人権意識を高めます

事務事業名		新規・継続	施策内順位			
男女共同参画推進事業		継続	3			
会計・款・項目		所管課	市長公約事項			
一般会計・3民生費・6人権政策費・3男女共同参画推進費		人権政策課	1:無			
事業概要	・男女共同参画推進のための各種講演会・研修会等の啓発活動の実施					
投入指標	年度別事業費		平成30年度	令和元年度	令和2年度	
	特定財源	国・県支出金	559 千円	530 千円	325 千円	
		地方債	50 千円	50 千円	0 千円	
		その他	0 千円	0 千円	0 千円	
		一般財源	0 千円	0 千円	0 千円	
一般財源		509 千円	480 千円	325 千円		
活動指標	指標名		単位	平成30年度	令和元年度	令和2年度
	審議会、委員会等の委員に女性が占める割合	%	計画	45	45	45
			実績	42	40.4	37.5
			計画			
実績						
令和2年度 実績			特記事項			
<ul style="list-style-type: none"> <li>・男女共同参画計画プラン7を策定した。</li> <li>・審議会等への女性の参画率は、R2.4.1で37.5%であった。</li> <li>・女性ネット会議(6回)開催。女性参画セミナー(2回)開催。市長とのトークサロン開催。女性ネット通信(1回)発行。</li> <li>・小諸市企業内人権同和教育推進連絡協議会会員企業(66企業)へ、チラシ等資料を送付し、情報提供及び啓発活動を行った。</li> </ul>						
目標の実現に向けた今後の取り組み					今後の方針	維持
<ul style="list-style-type: none"> <li>・男女共同参画社会を推進するため、啓発事業や情報提供を行う。</li> <li>・女性活躍推進法に基づく、企業への働き掛けの検討を行う。</li> </ul>						

政策 1 心豊かで自立できる人が育つまち  
 施策 1-6 市民の人権意識を高めます

事務事業名		新規・継続	施策内順位			
多文化共生推進事業		継続	5			
会計・款・項・目		所管課	市長公約事項			
一般会計・3民生費・6人権政策費・4多文化共生推進費		人権政策課	1:無			
事業概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>国際交流事業の実施</li> <li>相談等による外国籍市民の地域生活の支援</li> <li>外国籍市民の日本語学習の支援</li> <li>外国籍市民支援ボランティアの育成</li> </ul>					
投入指標	平成30年度		令和元年度		令和2年度	
	年度別事業費		389 千円	415 千円	184 千円	
	特定財源	国・県支出金	0 千円	0 千円	0 千円	
		地方債	0 千円	0 千円	0 千円	
		その他	0 千円	0 千円	0 千円	
一般財源		389 千円	415 千円	184 千円		
活動指標	指標名		単位	平成30年度	令和元年度	令和2年度
	日本語学習支援教室開催回数	回	計画	62	59	60
			実績	62	61	46
	日本語ボランティア学習会開催回数	回	計画	2	2	2
			実績	2	1	0
令和2年度 実績			特記事項			
<ul style="list-style-type: none"> <li>日本語教室を昼の部18回、夜の部10回、放課後18回開催した。</li> </ul>			新型コロナウイルスの影響により、日本語教室の回数が減少した。			
目標の実現に向けた今後の取り組み <ul style="list-style-type: none"> <li>外国籍住民の増加に伴い、日本語教室やわかりやすい日本語セミナーを開催し、外国籍住民との共生社会づくりを推進する。</li> <li>新型コロナウイルスの状況を見ながら、外国籍留学生を対象とした、ホームステイ事業を行う。</li> </ul>					今後の方針	維持

政策 1 心豊かで自立できる人が育つまち  
 施策 1-6 市民の人権意識を高めます

事務事業名		新規・継続	施策内順位			
人権同和教育推進事業		継続	1			
会計・款・項・目		所管課	市長公約事項			
一般会計・10教育費・5人権同和教育費・1人権同和教育費		人権同和教育課	1:無			
事業概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>人権同和教育を学校・地域・企業等で推進する。</li> </ul>					
投入指標	平成30年度		令和元年度		令和2年度	
	年度別事業費		3,118 千円	2,896 千円	2,108 千円	
	特定財源	国・県支出金	175 千円	175 千円	90 千円	
		地方債	0 千円	0 千円	0 千円	
		その他	120 千円	120 千円	120 千円	
一般財源		2,823 千円	2,601 千円	1,898 千円		
活動指標	指標名		単位	平成30年度	令和元年度	令和2年度
	人権同和教育推進委員会研修会の開催	回	計画	2	2	2
			実績	1	1	0
	人権同和教育推進委員会(助言者会)の開催	回	計画	4	3	3
			実績	3	3	1
令和2年度 実績			特記事項			
<ul style="list-style-type: none"> <li>人権懇談会1区開催。区内全戸配布による啓発2回。</li> <li>人権教育公開授業を東中学校と水明小学校で行なった。</li> </ul>						
目標の実現に向けた今後の取り組み <ul style="list-style-type: none"> <li>人権懇談会の運営内容を助言者会で検討し、各区等に積極的な開催を働きかける。</li> <li>幼保小中養高人権同和教育研究委員会を通じ、学校での同和教育における「統一単元」の運用、各園各校における取り組み内容に係る情報交換と研修を行なう。</li> <li>企業内人権同和教育推進連絡協議会を通じ、各種研修の案内や啓発資料等の情報提供、啓発ビデオの貸出等を行う。</li> </ul>					今後の方針	維持

政策 1 心豊かで自立できる人が育つまち  
 施策 1-6 市民の人権意識を高めます

事務事業名		新規・継続		施策内順位			
人権同和教育促進事業		継続		4			
会計・款・項・目		所管課		市長公約事項			
一般会計・10教育費・5人権同和教育費・1人権同和教育費		人権同和教育課		1:無			
事業概要 ・解放子ども会の運営							
投入 指標	年度別事業費		平成30年度	令和元年度	令和2年度		
	特定 財源	国・県支出金	380 千円	335 千円	308 千円		
		地方債	0 千円	0 千円	0 千円		
		その他	0 千円	0 千円	0 千円		
		一般財源	380 千円	335 千円	308 千円		
指標名		単位	平成30年度	令和元年度	令和2年度		
活動 指標	解放子ども会の開催回数(交流会含む)		回	計画	31	31	31
				実績	31	31	29
				計画			
				実績			
令和2年度 実績				特記事項			
・解放子ども会(29回)開催				新型コロナウイルス感染症の影響により、解放子ども会の夏期交流会は中止となった。			
目標の実現に向けた今後の取り組み							
・子ども会を開催し、差別に負けない子どもを育成する。 ・他の子ども会との交流を図り、多くの仲間づくりを行う。					今後の 方針	維持	

事務事業名				新規・継続	
人権同和政策総務費運営費				継続	
会計・款・項・目				所管課	
一般会計・3民生費・6人権政策費・1人権同和政策総務費				人権政策課	
投入 指標			平成30年度	令和元年度	
	年度別事業費		5,145 千円	4,573 千円	3,709 千円
	特定 財源	国・県支出金	0 千円	0 千円	0 千円
		地方債	0 千円	0 千円	0 千円
		その他	0 千円	0 千円	0 千円
一般財源		5,145 千円	4,573 千円	3,709 千円	
事務事業名				新規・継続	
人権同和政策総務費給与費				継続	
会計・款・項・目				所管課	
一般会計・3民生費・6人権政策費・1人権同和政策総務費				人権政策課	
投入 指標			平成30年度	令和元年度	
	年度別事業費		25,405 千円	25,765 千円	21,968 千円
	特定 財源	国・県支出金	0 千円	0 千円	0 千円
		地方債	0 千円	0 千円	0 千円
		その他	0 千円	0 千円	0 千円
一般財源		25,405 千円	25,765 千円	21,968 千円	

